

市道浅柄古志線歩道設置工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

# 田畠遺跡

—観察表—

2000年3月

出雲市教育委員会

## 例　言

1. 本書は出雲市教育委員会が2000年に発行した『田畠遺跡　市道浅柄古志線歩道設置工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』（以下、本編という）に掲載した出土遺物のうち、土器等・石製品についての観察表である。
2. 本書の作成は三原が行ったが、全般にわたり田中義昭氏からご教示を賜った。また、陶磁器については細田美樹氏からご助言を頂いた。記して謝意を表しておきたい。なお、石製品の石材鑑定は羽木が行い、器種の判定は坂本が行った。
3. 観察表の記載事項について

### 土器等観察表

押図番号：本編の押図番号に対応する。

器種：種類と器種を示した。

出土地点：調査区、遺構（グリッドetc.）、層位の順で記述した。

法量：実測図から測定した。よって、反転復元して実測したものについては復元値となる。

形態・文様の特徴：主要なものについて記述したほか、時期が推定できるものについてはそれも記した。なお、赤色塗彩されている場合には本編の実測図においてその箇所をスクリーントーンで示した。

手法の特徴：主要なものについて記述した。

①胎土②焼成③色調：①には胎土に含まれる砂粒（礫）の大きさとその量を記した。②は善し悪しを良好、良、やや良、普通、やや不良、不良の6段階に分けて判断した。③には『新版　標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財團法人日本色彩研究所色票監修を用いた。

備考：上記以外に特記事項がある場合にのみ記述した。

### 石製品観察表

押図番号：本編の押図番号に対応する。

種類：器種を示した。

遺存状態：記述した器種としての遺存状態を示した。したがって、転用がなされているものについては転用後の器種での遺存状態である。

石材：石の種類を示した。

長さ、幅、厚さ：実測図から最大の数値を測定した。

重量：測定にあたっては最小目盛1gと5gの上皿バネ秤を用いた。

備考：加工痕や使用痕を中心に特記事項を記述した。なお、本編の実測図においては研磨面をスクリーントーンで示したものもある。

4. 本書の作成にあたっての参考文献は、本編のP153に「第3章　調査の結果」の参考文献として示した。

## 土器等観察表

件番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
6-1	弥生土器 甕	1区 SK01-P1 1層	口径 24.1	口縁部は肥し丸味を帯び、口縁部外 面に 12 条程度の平行比較施す。腹部 の腰部斜め下に突出し、頸部は「く」 字状に屈曲するため内面に瘤を持つ。草 田 3 層。	口縁部 内部：ナデ 腹部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 2mm 以下の砂粒を含む ② 良 ③ にぶい黄褐色	反転復元。
6-2	弥生土器 高环・外唇台	1区 SK01 1層	不 明	脚部外面に 15 条以上の平行比較を施 す。	脚部 内面：ケズリ	① 2mm 以下の砂粒をやや多く 含む。 ② やや良 ③ 棕褐色	反転復元。
8-1	土器器 甕	1区 SK02 1層	不 明	口縁部は單純に外反する。	口縁部 外部：ナデ 腹部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く 含む ② 普通 ③ 灰黄色	
8-2	土器器 甕	1区 SK02 1層	口径 11.7 底径 5.4 器高 4.8	腹壁は底部から体部に向かい内蔵弧底 立ち上がるが、口縁部付近で若干外反し 閉口する。12世紀。	口縁部・体部 外部：回転ナデ 腹部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ② 普通 ③ にぶい褐色	口縁部反転復 元。
8-3	土器器 甕	1区 SK02 3層	口径 14.9	腹壁は底部から口縁部にかけて直線的に 立ち上がる。	口縁部・体部 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒をまれに含 む ② 良 ③ 棕褐色	反転復元。
10-1	弥生土器 広口甕	1区 SK05 1層	口径 29.7	口縁部は下方に弧張し、肩面に 3 条の 凹線文を施した後に周目文を施す。内 面には刻目文、斜格子文、5 条の四線文 を施す。松本直周。	口縁部 外部：ナデ 腹部 外側：ハケ 内面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒をやや多く 含む ② 普通 ③ 灰黄色	反転復元。
10-2	弥生土器 広口甕	1区 SK05 4層	口径 20.4	口縁部は上下に若干抵抗する。内面と 肩面の境に周目文を施す。松本直周。	口縁部 内面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ② やや良 ③ 灰黄色	反転復元。
10-3	弥生土器 広口甕	1区 SK05 1層	不 明	口縁部内面に斜格子文を施す。腹部外側 には前頭三角形の突起文を 3 条貼り付け る。松本直周。	口縁部 外部：ナデ 腹部 内面：ハケ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ② やや良 ③ 灰黄色	反転復元。
10-4	弥生土器 甕	1区 SK05 1・2層	口径 20.3	口縁部は上方に若干抵抗し、肩面には 1 条の四線文を施した後に、周目文を 施す。	口縁部 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ② 普通 ③ 灰黄色	反転復元。
10-5	弥生土器 盆	1区 SK05 1・2層	口径 20.9 底径 9.1 器高 18.4	口縁部は若干肥厚し、肩面と側部最大 径部近に斜突文を施す。松本直 2 層。	口縁部 内面：ナデ 腹部上半 外側：ハケ 腹部下半 外側：ミガキ 内面：ハケ 腹部 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ② やや良 ③ にぶい褐色	ほぼ完形に復元 できた。
10-6	弥生土器 不明 (底部)	1区 SK05 2層	底径 5.0	平底。	脚部下 外側：ミガキ 内面：ケズリ 底部 内面：ナデ	① 2.5mm 以下の砂粒をやや多く 含む ② やや不良 ③ にぶい褐色	反転復元。
12-1	弥生土器 高环	1区 SK09	不 明	脚部に四線文を 20 条以上施す。凹線 を跨ぐ 3段の周目文が観察できる。	脚部 内面：ナデ? 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒を含む ② やや不良 ③ にぶい褐色	反転復元。
12-2	土器器 甕	1区 SK09	高台径 6.0	底面外縁に「ハ」字状に開く高台を貼り 付ける。	底部 外側：内転ナデ 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ② 普通 ③ にぶい褐色	反転復元。
14-1	弥生土器 広口甕	1区 SK10	不 明	口縁部は下方に弧張し、肩面に 3 条の 凹線文と 2段の周目文を施す。内面には 刻目文、斜格子文、四線文を施す。松 本直周。	口縁部 外側：ナデ 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く 含む ② 普通 ③ にぶい黄褐色	

件名番号	器種	出土地點	高さ(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
14-2	弥生土器 広口壺	1区 SK10 1層	不明	腹部に突起文を2箇所貼り付ける。	体部 外表面：ハケ 内面：ナデ、ハケ、ケズリ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元。
14-3	土師器 壺	1区 SK10 1層	底径 5.8	底部で絞られた器壁は体部に向かい内側突出して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外表面：回転条切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
14-4	土師器 壺?	1区 SK10 1層	底径 6.0	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 外表面：ナデ 内面：回転ナデ 底部 外表面：回転条切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
16-1	須恵器 壺	1区 SK12 上層	口径 27.4 底径 20.0 高さ 2.7	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に開口し、先細りの断面を呈する。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外表面：ナデ 内面：回転ナデ	①まれに3.5mmの大砂を含む ②普通 ③灰白色	反転復元。
16-2	土製品 土鍋	1区 SK12	長さ 5.6 幅 1.6 孔径 0.5	管状筋跡と上縁。	表面：オサエ?	①砂粒をあまり含まず ②普通 ③にぼい黄褐色	
18-1	弥生土器 壺	1区 SK13	口径 27.0	複合部の後は水平方向に突出する。厚田 5周。	口縁部 内外面：ナデ 肩部 外表面：ナデ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぼい黄褐色	反転復元。
18-2	須恵器 壺	1区 SK13 3層	高台径 13.5	底部外縁に高台を貼り付ける。高台下部。 口縁部で若干外反し開口する。	底部 外表面：回転条切りナデ? 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰色	反転復元。
20-1	土師器 壺	1区 SK14 2層	口径 9.8	体部で内側気泡に立ち上がった器壁は、 口縁部で若干外反し開口する。11世紀?	口縁部・体部 外表面：回転ナデ 内面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや不良 ③浅黄褐色	反転復元。
20-2	土師器 壺	1区 SK14 1層	口径 11.9	体部で内側気泡に立ち上がった器壁は、 口縁部で外反氣泡に開口する。11世紀?	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①まれに1mmの大砂を含むが 尚 ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元。
20-3	土師器 壺	1区 SK14 1層	口径 14.6	体部で内側気泡に立ち上がった器壁は、 口縁部で外反氣泡に開口する。11世紀?	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元。
20-4	土師器 壺	1区 SK14 1層	口径 14.7	器壁は体部で若干内側する。高台の付く 可塑性あり。10世紀?	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元。
20-5	土師器 壺	1区 SK14 2層	底径 5.8	底部で絞られた器壁は体部に向かい内側して 立ち上がる。10~11世紀?	体部 外表面：回転ナデ 底部 外表面：回転条切り 内面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元。
20-6	土師器 壺	1区 SK14 3層	底径 5.5	器壁は底部から体部に向かい内側して立 ち上がる。10~11世紀?	体部 外表面：回転ナデ 底部 外表面：回転条切り 内面：ナデ?	①1mm以下の砂粒を含む ②やや不良 ③灰黃褐色	反転復元。
20-7	土師器 壺	1区 SK14 1層	底径 5.9	器壁は確かに絞られた底部から体部に向 かい若干内側気泡に立ち上がる。10~11 世紀?	体部 外表面：回転ナデ 内面：ナデ? 底部 外表面：回転条切り 内面：ナデ	①まれに4mmの大砂を含む ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元。

件番号	器種	出土地点	法面(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
20-8	土師器 环	1区 SK14 1層	底径 6.6	器壁は底部から全体にかけて直線的に立ち上がる。9世紀?	全体 外側:ナデ 内側:回転ナデ 底部 外側:回転み切り 内側:回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を少し含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
20-9	土師器 环	1区 SK14 2層	底径 5.2	器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がる。11~12世紀。	全体 外側:ナデ? 底部 外側:回転み切り 内側:四枚ナデ?	①2.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄褐色	反転復元。
20-10	土師器 环	1区 SK14 2層	底径 4.8	器壁は底部から全体に向かい内湾気味に立ち上がる。11~12世紀。	全体 外側:ナデ 底部 外側:回転み切り 内側:ナデ	①2.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②中や良 ③にぶい褐色	反転復元。
20-11	土師器 环	1区 SK14 3層	口径 11.5 底径 4.6 厚さ 2.7	底部で強く絞られた器壁は底部に向かい直線的に広く開口する。12世紀?	口縁部・全体 内外面:ナデ 底部 外側:回転み切り 内側:ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②中や良 ③浅黄褐色	反転復元。
20-12	土師器 环	1区 SK14 1層	高台径 9.8	底面外縁に「八」字状に聞く高い高台を貼り付ける。11世紀。	底面 内外面:ナデ	①3mm以下の砂粒を含む。 ②良 ③にぶい褐色	
20-13	土師器 环	1区 SK14 1層	高台径 10.4	底面外縁に「八」字状に大きく聞く高い高台を貼り付ける。11世紀。	底面 内外面:ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②中や良 ③浅黄褐色	反転復元。
20-14	土師器 环	1区 SK14 2層	高台径 9.9	底面外縁に「八」字状に大きく聞く高い高台を貼り付ける。器壁は全体に向かい内湾気味に立ち上がる。全面に赤色施形を施す。11世紀。	全体・底面 内外面:ナデ	①2.5mm以下の砂粒を少し含む ②良 ③中や良 ④褐色	反転復元。
20-15	土師器 甕	1区 SK14 2層	口径 22.0	口縁部を丸くおさめる。瓶部は「く」字状に開口する。	口縁部 内外面:ナデ 瓶部上半 外側:ハケ 内側:ケズリ	①2mm以下の砂粒を多く含む ②中や不良 ③褐色	反転復元。
20-16	土師器 甕?	1区 SK14 1層	底径 18.0	底面外縁に「八」字状に聞く高台を貼り付ける。基部は瓶部から瓶部にかけて若干内湾し立ち上がる。	瓶部・底面 外側:ナデ 内側:ケズリ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい褐色	反転復元。
20-17	須恵器 蓋	1区 SK14 上層	不 明	輪状施形を貼り付ける。高広口期。	甲部 外側:回転ナデ 内側:ナデ?	①0.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰褐色	反転復元。
20-18	須恵器 环?	1区 SK14 2層	口径 16.5	器壁は底部から若干内湾し立ち上がるが、口縁部付近でやや外反し開口する。高広口期?	口縁部・全体 内外面:回転ナデ?	①砂粒をあまり含まず密 ②中や不良 ③灰色	反転復元。
20-19	須恵器 環?	1区 SK14 2層	不 明	口縁部は大きく外反し開口すると思われる。	瓶部 内外面:回転ナデ?	①2mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③灰色	反転復元。 口縁部内面と肩部外縁に自然な輪が付帯する。
23-1	弥生土器 甕	1区 SK15 1層	口径 19.0	口縁部外側に4条の四綫文を施す。草田1層。	口縁部 内外面:ナデ 瓶部以下 外側:ナデ 内側:ケズリ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②中や良 ③にぶい褐色	反転復元。
23-2	土師器 环	1区 SK15 2層	口径 12.2 底径 6.1 厚さ 4.5	器壁は底部から全体にかけて直線的に立ち上がる。9世紀。	口縁部・全体 内外面:回転ナデ 底部 外側:回転み切り 内側:回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②中や良 ③浅黄褐色	
23-3	土師器 环?	1区 SK16 1層	口径 11.6	全体から内湾気味に立ち上がった器壁は口縁部に屈曲を表す。外反し開口する。内外面に赤色施形を施す。	口縁部・全体 内外面:回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含むが密 ②普通 ③褐色	反転復元。

種別番号	器種	出土地点	法規(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①鉛土 ②焼成 ③色調(地)	備考
25-2	須恵器 环	1区 SK16 1層	底径 9.0	底面外縁に高台を張り付ける。高広N B用。	底面 外縁: 回転条切り 内側: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
25-3	須恵器 环	1区 SK16 2層	底径 7.6	底面外縁に高台を張り付ける。高広N B用。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部 外縁: 回転条切り 内側: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
25-4	須恵器 環	1区 SK16 2層	口径 15.7 底径 11.5 高さ 2.9	器壁は口縁部で若干外反し捲口する。高広N用。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部 外縁: ナデ 内側: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰白色	反転復元。
27-1	土師器 甕	1区 SK17 上層	口径 25.9	口縁部は平縁に外反し先折りの断面を呈する。腹部は「く」字形に屈曲する。	口縁部 内外面: ナデ 腹部: 上半 外縁: ハケ? 内側: ケズリ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②良 ③にぼい黄褐色	反転復元。
27-2	土師器 甕	1区 SK17 上層	口径 26.6	口縁部は平縁に外反する。腹部は曲線的に屈曲する。	口縁部 内外面: ナデ 腹部: 上半 外縁: ハケ? 内側: ケズリ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぼい黄褐色	反転復元。
27-3	須恵器 环	1区 SK17 1層	口径 14.5	器壁は体部から内凹して立ち上がり捲口する。	口縁部 内外面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
29-1	須恵器 環	1区 SK18 1層	口径 13.9 高さ 1.3 (縫を除く)	口縁端部を下方に若干引き出す。高広N B用。	口縁部 内外面: 回転ナデ 中部 外縁: ナデ 内側: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含むが密 ②中や良 ③灰色	反転復元。
31-1	勞生土器 甕	1区 SK19 1層	口径 11.6	口縁部外面に2枚の円線文を施す。草田: 用。	口縁部 内外面: ナデ 腹部: 上半 外縁: ナデ 内側: ケズリ	①1mm以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元。
31-2	土師器 甕	1区 SK19 1層	口径 12.0 底径 9.0 高さ 4.7	器壁は底部から内凹して立ち上がり、口縁端部近くで強くナデられ捲口する。	口縁部・体部 内側: 回転ナデ 底部 外縁: 回転条切り後ナデ? 内側: ナデ	①5~7mmの大粒を数粒含む ②普通 ③褐色	ほぼ完形。
31-3	須恵器 金Y	1区 SK19 1層	口径 13.9	口縁端部を上方に若干引き出す。	口縁部 外縁: 回転ナデ 内側: ナデ 腹部 内側: 回転ナデ	①まれに1mmの大粒を含むが密 ②良 ③赤褐色	反転復元。 口縁部内面に自然剥がかかる。
31-4	須恵器 高环	1区 SK19 1層	脚継径 18.2	器部は大きく広がり底部を下方に引き出す。	脚部 内外面: 回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③褐色	反転復元。
31-5	須恵器 蓋	1区 SK19 1層	口径 14.5 高さ 1.4 (縫を除く)	口縁部を下方に微かに引き出す。平縁中央に宝珠状紋が刻磨した痕跡が残る。高広N B用。	口縁部 内外面: 回転ナデ 中部 外縁: ナデ 内側: 回転ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③褐色	反転復元。
32-1	須恵器 環	1区 SK19 1層	口径 6.2	口縁部は外反して捲口し、外縁に5条1半径の波状文を3段盛らす。また、そのそれぞれの下辺に1条1半径の波状文を施す。対応は大きくなっている。古墳時代終末期頃?	口縁部 内外面: ナデ 腹部 内側: タクタ (引き締め) 内側: オサエ (当て具)	①4mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。 質部外縁に自然剥がかかる。
32-2	須恵器 蓋	1区 SK19 1層	不明	口縁部は外反して捲口し、外縁に7条1半径の波状文を3段盛らす。また、そのそれぞれの下辺に1条1半径の波状文を施す。古墳時代終末期頃?	口縁部 内外面: 回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③灰色	

件番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
34-1	土師器 甕	1区 SK24	不 明	複合部の底は水平方向に突出する。草田 6~7周。	口縁部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	
36-1	弥生土器 長縄甕	1区 SK25 1周	口径 24.0	口縁部から腹部にかけての外面に斜目文 を施した突堤を6条引き付け、神状浮文 も施す。口縁部には斜目文子文、外縁に 斜目文を施す。松本Ⅲ-2周。	口縁部 内外面:ナデ	①まれに4mmの大粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
36-2	弥生土器 甕	1区 SK25	口径 17.7	口縁部外面に5条の凹線文を施す。草 田1周。	口縁部 内外面:ナデ 腹部上半 外縁:不明 内面:ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄色	反転復元。
38-1	弥生土器 広口甕	1区 SK26 1周	口径 26.6	口縁端面に4条の凹線文を施し、斜目 文を斜方に向て2段施す。また、2つ円形 浮文が認められる。松本Ⅲ-2~IV-1周。	口縁部 内外面:ナデ	①4mm以下の砂粒をやや多く 含む ②やや良 ③灰黃褐色	反転復元。
38-2	弥生土器 広口甕	1区 SK26 1周	不 明	口縁部内面に斜目文、斜目突起文、神状 浮文を施す。松本Ⅲ-2~IV-1周。	口縁部 内外面:ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黃褐色	
38-3	弥生土器 不明 (口縁部)	1区 SK26 1周	不 明	口縁部内面に斜目文と2つの円形浮文 が認められ、端面と外縁に赤色施錆の痕 跡が残る。また、腹部9内面には斜目文 を施す。松本Ⅲ-2~IV-1周。	口縁部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	
38-4	弥生土器 甕	1区 SK26 1周	底径 11.5	平底。松本Ⅲ-2~IV-1周。	腹部下半 外縁:ミガキ 内面:ケズリ 底部 外縁:ナデ 内面:オサエ	①2mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄色	反転復元。
41-1	弥生土器 甕	1区 SK27 上部	口径 17.6 (底定)	口縁端部は上下に抜傷し、端面に2条以 上の凹線文を施す。松本Ⅳ-2周。	口縁部 内外面:ナデ 腹部上半 外縁:ナデ 内面:ハケ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
41-2	土師器 甕	1区 SK27 1周	不 明	底面に「八」字形に開く高台を貼り付け ていると思われる。器部は底部から全体 にかけて内溝気泡に立ち上がる。11世紀。	底部 内外面:回転ナデ 底部 外縁:ナデ消し 内面:回転ナデ	①砂粒をほとんど含まず ②良 ③浅黄色	反転復元。
41-3	土師器 甕	1区 SK27 1周	底径 5.1	底部で強く被られた器部は全体にかけて内溝 して立ち上がる。12世紀。	全体 内外面:回転ナデ 底部 外縁:回転糸切り 内面:回転ナデ	①まれに3mmの大粒を含むが 少 ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
41-4	土師器 甕	1区 SK27 1周	底径 4.3	底部で強く被られた器部は全体に向かい 直線的に広く立ち上がる。12世紀。	全体 内外面:回転ナデ 底部 外縁:回転糸切り 内面:回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄色	反転復元。
41-5	須恵器 蓋	1区 SK27 1周	口径 12.8 器高 1.2 (縫を除く)	口縁端部は下方に若干引き出される。宝 珠状浮文を有していたと思われる。底広 B周。	口縁部 内外面:回転ナデ 中部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含むが 少 ②普通 ③灰褐色	反転復元。
41-6	須恵器 蓋	1区 SK27 1周	口径 17.8	口縁端部下方に若干引き出される。高広 N 8周。	口縁部 内外面:回転ナデ	①0.2mm以下の砂粒を含むが 少 ②良 ③灰色	反転復元。 口縁部外面に自然釉が付着す る。
43-1	土師器 甕	1区 SK28 2周	底径 6.0	器部は底部から全体にかけて若干外反し 立ち上がる。11~12世紀。	全体 内外面:ナデ? 底部 外縁:回転糸切り 内面:ナデ?	①まれに3mmの大粒を含むが 少 ②やや良 ③浅黄色	反転復元。

編號番号	器種	出土地点	底高(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①鉛土 ②焼成 ③色調(地)	備考
45-1	陶器 蓋	1区 SK32 1層	口径 17.5	体部に内し外し立ち上がった唇部は口縁部で外反し肩口する。体部内面に草の様なものを描く。11世紀。	口縁部・体部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず ②良 ③軸：灰褐色 地：灰褐色	反転復元。 唐津城。
46-1	弥生土器 長持	1区 SK33 1層	手 約	腹部下半に5条以上の突帯を振り出す。松本N-1層?	腹部上半 外側：ハケ 内側：ケズリ 腹部下半 外側：ナデ 内面：シボリ	①2mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰黄色	反転復元。
46-2	弥生土器 甕	1区 SK33 2層	口径 19.8	口縁端部は上下に若干内折し、端面に2条の凹輪文を描ます。腹部は「く」字状に突出し、外側に交差文を振り付ける。胴部最大径付近の外側に列点文を施す。松本N-1層?	口縁部 内外面：ナデ 腹部上半 外側：ハケ 内面：オサエ後ハケ	①3mm以下の砂粒を多く含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。 胴部の脇部が3箇所径4cmの円滑部に割かれている。
46-3	弥生土器 甕?	1区 SK33 1層	脚遺跡 8.2	脚部は広がり、端部に凸を有する。松本N-1層?	环部 外側：不明 内面：ハケ 腹部 外側：不明 内面：ケズリ?	①3mm以下の砂粒を多く含む ②やや不良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
46-4	弥生土器 甕?	1区 SK33 1層	底径 9.2	平底。松本N-1層?	脚部下半 外側：ミガキ 内面：ナデ 腹部 外側：ナデ 内面：オサエ後ナデ	①3mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	
46-5	弥生土器 甕?	1区 SK33 2層	底径 8.4	平底。松本N-1層?	脚部下半 外側：ハケ 内面：ナデ? 底部 外側：ナデ 内面：オサエ後ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄色	反転復元。
46-6	弥生土器 甕?	1区 SK33 1層	台端径 4.9	底部に「ハ」字形に開く台を有する。筋状は底部から脚部に向かい急に立ち上がる。松本N-1層?	脚部下半 外側：ハケ? 内面：ナデ 底部 外側：不明 内面：オサエ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰灰色	
49-1	土師器 甕	1区 SK34 1層	高台径 8.8	底面外縁に「ハ」字形に大きく開く高い高台を振り付ける。11世紀。	底部 内外面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③褐色	反転復元。
49-2	土師器 甕	1区 SK34 2層	高台径 8.8	底面外縁に「ハ」字形に大きく開く高い高台を振り付ける。11世紀。	底部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
49-3	土師器 甕	1区 SK34 2層	高台径 9.3	底面外縁に「ハ」字形に大きく開く高い高台を振り付ける。腰壁は底部から脚部に向かい内側して立ち上がる。11世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：ナデ 内面：ナデ?	①2.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅青褐色	
49-4	土師器 甕	1区 SK34 1層	手 約	底面外縁に「ハ」字形に大きく開く高台を振り付ける。腰壁は底部から体部に向かい内側して立ち上がる。11世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：ナデ	①5mmの大の塵を含む ②やや良 ③浅青褐色	
49-5	土師器 甕	1区 SK34 2層	手 約	底面外縁に「ハ」字形に大きく開く高台を振り付ける。11世紀。	底部 内外面：ナデ	①まれに6mmの大の塵を含む ②良 ③にぶい黄褐色	
49-6	土師器 甕	1区 SK34 1層	手 約	底面外縁に「ハ」字形に大きく開く高台を振り付ける。11世紀。	底部 内外面：ナデ	①まれに5mmの大の塵を含む ②良 ③浅青褐色	
49-7	土師器 甕	1区 SK34 1層	底径 5.4	底面に若干剥れた唇部は体部に向かい内側味に立ち上がる。11世紀?	体部 内外面：回転ナデ? 底部 外側：回転糸切り 内面：ナデ?	①砂粒をあまり含まず ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。

検査番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①鉛上 ②焼成 ③色調(地)	備考
49-8	須恵器 盒	1区 SK34 1周	口径 19.3	口縁端部は下方に若干引き出される。高 広N B周。	口縁部 内外面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。 口縁端付近外 面に自然物が付 着する。
49-9	土製品 土瓶	1区 SK34 1周	長さ 4.4 幅 1.5 孔径 0.6	管状前縫形土瓶。	表面：ナデ?	①2mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	
51-1	土師器 环	1区 P1001 2周	底径 4.4	底壁を強くり、翌壁は底部から体部にかけて直線的に広く立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底壁 外裏：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰色	反転復元。
51-2	赤生土器 甕	1区 P1009	口径 21.8	口縁外面に5条の浅い平行沈線を這ら す。草田1周。	口縁部 内外面：ナデ 底壁上半 外裏：ナデ 内面：ケズリ	①まれに3mm 大の砂を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
51-3	土師器 瓢	1区 P1002	口径 20.0	口縁端部は若干厚出し平坦な端面に変調 を有する。集合部後は斜め下方に突出す。草田6~7周。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
51-4	土師器 环	1区 P1002 2周	口径 14.2	翌壁は底部から体部に向かい直線的に立 ち上がり。口縁部は僅かに外反し凹口す る。12世紀?	体部 内外面：回転ナデ	①まれに 1mm 大の砂を含むが 密 ②良 ③褐色	反転復元。
51-5	七輪器 环	1区 P1002	底径 6.3	翌壁は底部から体部に向かい直線的に立 ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底壁 外裏：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③褐色	反転復元。
51-6	須恵器 盒	1区 P1004 5周	口径 24.1 底径 20.8	翌壁は底部から直線的に立ち上がり凹口 する。高広N A周。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底壁 外裏：回転へらしき後ナデ 内面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
51-7	須恵器 盒	1区 P1008 3周	口径 24.9 底径 18.5	翌壁は底部から直線的に立ち上がり凹口 しする。高広IV A周	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底壁 外裏：ナデ	①まれに 4mm 大の砂を含む ②良 ③黄色	反転復元。
51-8	土師器 环	1区 P1008 4周	底径 6.7	翌壁は底部から体部に向かい直線的に立 ち上がる。	底壁 内外面：回転ナデ 底壁 外裏：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③褐色	反転復元。
51-9	赤生土器 甕	1区 P1004	口径 22.0	口縁端部は内傾して上下に拡張し、端面 に2本の凹線文を這らす。端部は「く」字状に屈曲する。板本IV-2周。	口縁部 内外面：ナデ 底壁上半 外裏：ハケ 内面：ハケ?	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
51-10	赤生土器 甕	1区 P1004	口径 13.8	口縁部外面に2条の浅い凹線文を這ら す。草田1周。	口縁部 内外面：ナデ 底壁上半 外裏：不明 内面：ケズリ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
51-11	須恵器 环	1区 P1001	不 明	底面外縁や内寄りに高台を盛り付け る。高広N A周。	底壁 外裏：回転糸切り 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②普通 ③灰色	反転復元。
51-12	陶器器 瓶	1区 P1013	口径 11.3	翌壁はやや外傾して立ち上がり、口縁端 部は丸くおさめる。	口縁部・体部 内外面：無釉(質人有り)	①砂粒を含まず灰褐色 ②良好 ③触：オリーブ灰色 地：灰色	反転復元。 肥前系。
51-13	赤生土器 住口上器	1区 P1015	径 2.6 孔径 1.1	翌壁は厚く端部は平坦面をなす。	口縁部 外裏：ミガキ 内面：ナデ? (棒状体)	①2mm以下の砂粒を多く含む ②普通 ③にぶい黄褐色	

標識番号	器種	出土地点	法規(㎝)	形態・文様の特徴	手括の特徴	①砂土 ②焼成 ③色調(地)	備考
51-14	須恵器 环	1区 P1803	口径 13.5 高径 11.0 底径 3.7	器部は底盤から内反して立ち上がり、口縁部付近で若干屈曲して開口する。高径N/A周。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：ナデ	① 0.5mm以下の砂粒を含むが 有 ②良 ③灰	反転復元。
53-1	弥生土器 甕	1区 SD01 2周	口径 20.1	口縁部外側に4条の凹線文、底部外側に 刻文を施す。草田1周。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 外面：ケ 内面：ケズリ	① 3mm以下の砂粒を多く含む 有 ②普通 ③に赤い黄褐色	反転復元。
53-2	弥生土器 甕	1区 SD01 1周	口径 20.0	口縁部外側に4条の平行弦線を施す。 底部は「く」字状に凸出する。草田2周。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 2.5mm以下の砂粒をやや多 く含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
53-3	弥生土器 甕	1区 SD01 1周	口径 14.9	口縁部外側に3条の凹線文を施す。草 田1周。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 1.5mm以下の砂粒を含む 有 ②普通 ③橙色	反転復元。
53-4	弥生土器 甕	1区 SD01 1周	口径 14.0	口縁部外側は強くナデつけられ、凹状 を呈する。草田1周。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 2mm以下の砂粒をやや多く 含む ②普通 ③に赤い黄褐色	反転復元。
53-5	弥生土器 甕?	1区 SD01 3周	底径 8.2	平底。	底部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1.5mm以下の砂粒を多く含 む ②やや良 ③に赤い黄褐色	反転復元。
53-6	弥生土器 高环	1区 SD01 1周	口径 22.8	口縁端部は紙張し筋間に4条の凹線文を 施す。环部外側の体部と底盤の境に接 が突出する。板本IV-2周。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 内外面：ミガキ	① 1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③橙色	反転復元。 古墳系。
54-1	須恵器 釜	1区 SD02 1周	口径 19.4	口縁部は広く外反し開口する。外面に段 を有する。	口縁部 内外面：回転ナデ	①砂粒をほとんど含まず 有 ②良 ③黄褐色	反転復元。 外面に自然物 が付着する。
56-1	弥生土器 甕	1区 SD05	口径 19.4	口縁部外側に4条の凹線文を施す。底部 は「く」字状に凸出する。草田1周。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 5mm以下の砂粒をやや多く 含む ②普通 ③に赤い橙色	反転復元。
56-2	陶磁器 不明 (底部)	1区 SD05	底径 8.9	平底。	底部・内部 内外面：ナデ	① 1mm以下の砂粒を含むが有 ②良 ③に赤い黄褐色	反転復元。
58-1	弥生土器 不明 (底部)	1区 SD06 1周	底径 11.6	平底。	底部下半 外面：ハケ 内面：ハケ? 底部 外面：ナデ 内面：不明	① 4mm以下の砂粒をやや多く 含む ②やや良 ③に赤い橙色	反転復元。 底盤の器内は厚 い。
58-2	陶磁器 加飾	1区 SD06 1周	底径 11.9	平底。14条一單位の握り目を内面に施 す。	底部下半 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①砂粒を含まず絶好 ②良好 ③褐色	反転復元。 肥前系。
58-3	陶磁器 火跡?	1区 SD06 1周	不 明	外面に雷文と3条の弦線により施す る。	口縁部・底部 外面：ナデ 内面：オサエ後ナデ	①砂粒をほとんど含まず 有 ②普通 ③橙色	

査定番号	形 種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手造の特徴	①治土 ②焼成 ③色調(地)	備 考
61-1	土師器 甕	1区 SD11 1層	高台径 6.0	口縁部は底部から広く外反し斜面する。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 外面：ケズリ 内面：ケズリ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
63-1	土師器 甕	1区 SD12 1層	底径 6.0	腹壁は底部から体部に向かい内側に立ち上がる。10~12世紀?	体部 内外面：回転ナデ? 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
63-2	土師器 甕	1区 SD12 1層	底径 5.5	底部でやや絞られた腹壁は体部にかけて内側に立ち上がる。10~12世紀?	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にぶい黄褐色	表面の質感は薄である。
63-3	土師器 甕	1区 SD12 2層	底径 5.5	底部でやや絞られた腹壁は体部に向かい直線的に広く立ち上がるようである12世紀?	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ?	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
63-4	土師器 甕	1区 SD12 1層	底径 5.5	底部で狭く絞られた腹壁は体部に向かい直線的に広く立ち上がる。12世紀?	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに3mmの大粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
65-1	土師器 甕	1区 SD14 1層	不 明	底部外縁に「ハ」字状に聞く高い高台を貼り付ける。腹壁は体部に向かい内側に立ち上がる。11世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
65-2	土師器 甕	1区 SD14 2層	脚端径 6.6 (推定)	底部外縁に「ハ」字状に聞く高台を貼り付ける。10~11世紀。	底部 内外面：ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③浅黄褐色	
65-3	土師器 甕	1区 SD14 1層	底径 5.8	腹壁は底部から体部に向かい内側に立ち上がる。11~12世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
65-4	土師器 甕	1区 SD14 4層	口径 6.0	底部で狭く絞られた腹壁は体部に向かい内側に立ち上がるようである。11~12世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①まれに2.5mmの大粒を含む が密 ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
65-5	須恵器 甕	1区 SD14 1層	口径 15.3 高さ 1.6 (縦を除く)	口縁部を下方に若干引き出す。高広 8周。	口縁部 内外面：ナデ 内面：回転ナデ 甲部 外面：ケズリ 内面：ナデ	①まれに4mmの大粒を含む ②良 ③灰褐色	反転復元。
67-1	弥生土器 広口甕	1区 SD19 1層	口径 37.7	口縁部は底部で下方に膨張し、縁間に3条、内面に5条の凹縫文を施す。松本N-2周。	口縁部 内外面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
67-2	弥生土器 甕	1区 SD19 1層	口径 26.0	口縁部は上下に拡張し、縁間に3条の凹縫文を施す。縫は「く」字状に組み合っている。松本N-2周。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 外面：ハケ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
67-3	弥生土器 甕	1区 SD19 2層	口径 17.5	口縁部は上下に拡張し、縁間に4条の凹縫文を施す。縫は「く」字状に組み合っている。松本N-2周。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 外面：ハケ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
67-4	弥生土器 甕	1区 SD19 下層	不 明	口縁部は上下に若干膨張し、縁間に2条の凹縫文と対目文を施す。縫部外側には対目文を貼り付ける。縫部は「く」字状に組み合っている。松本N-2周。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を多く含む ②良 ③黄灰色	

標識番号	形 種	出土地點	法寸(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①鉄土 ②焼成 ③色調(地)	備 考
67 - 5	弥生土器 高環	1区 SD19 1層	口径 17.0	口縁部裏面に2条の凹線文を施す。体 部外側には4条の四瓣文と3段の粗目文 を施す。松本N-2周?	口縁部・体部 内外面:ナデ 底部 内外面:ミガキ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。 屯田系?
67 - 6	弥生土製品 猪蹄水	1区 SD19 1層	径 5.0 厚さ 0.4 孔径 0.5	断面は鉗曲している。松本N-2周?	表面:ハケ 内面:ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	変形部分を軽用 している。
67 - 7	土師器 环	1区 SD19 4層	脚環径 8.4	底面外縁に「八」字状に広く開く高台 を貼り付ける。器壁は体部に向かい内 側へ立ち上がる。11世紀。	体部・底部 内外面:ナデ	①4mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄色	反転復元。
69 - 1	土師器 环	1区 SX02	脚環径 9.2	底面外縁に「丁」字状に広く開く高台を 貼り付ける。11世紀。	高台 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
69 - 2	土師器 环	1区 SX02	底径 5.4	器壁は底部から体部に向かい直線的に立 ち上がる。	体部 内外面:回転ナデ 底部 外側:回転糸切り 内面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
69 - 3	土師器 环?	1区 SX02	底径 5.4	底部で絞られた器壁は体部に向かい広く 立ち上がる。10~11世紀?	底部 外側:回転糸切り 内面:ナデ	①4mm以下の砂粒をやや多く 含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
69 - 4	須恵器 环?	1区 SX02	底径 5.8	器壁は丸味を帯びた底部から体部に向か い内側へ立ち上がる。	体部 内外面:回転ナデ 底部 外側:回転ヘラ起し 内面:回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰褐色	反転復元。 直である可能性 もある。
70 - 1	弥生土器 長持袋	1区 14Gr 地山直上層	口径 23.5	口縁部は厚化し、端面とその外縁に粗 目文を施す。松本N-1周。	口縁部 外側:ハケ 内面:ハケ後ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
70 - 2	弥生土器 長持袋	1区 14Gr 地山直上層	口径 21.5	口縁部は左右に拡張し、端面に斜格子 文、外縁に粗目文を施す。また、洗い切 り部に粗目文を施した突唇文を貼り付け、神狀浮 文も貼り付ける。松本N-1周。	口縁部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒をやや多く 含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
70 - 3	弥生土器 広口壺	1区 14Gr 地山直上層	口径 23.9	口縁部は下方に拡張し端面の上下の外 縁に粗目文を施す。松本N-1周。	口縁部 外側:ナデ 内面:ハケ 底部 外側:ハケ 内面:ナデ?	①3mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
70 - 4	弥生土器 広口壺	1区 14Gr 地山直上層	口径 32.0	口縁部は肥厚し端面に3条の四瓣文と 粗目文を施す。また、外縁に粗目文を 施した突唇文を2条貼り付ける。松本N- 2周。	口縁部 内外面:ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
70 - 5	弥生土器 広口壺	1区 14Gr 地山直上層	口径 34.0	口縁部は上下に若干拡張し端面に3条 の四瓣文と2段の粗目文を施す。また、 内面には粗目文、斜格子文、4条の凹線 文を施す。松本N-1周。	口縁部 内外面:ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰褐色	反転復元。
70 - 6	弥生土器 広口壺	1区 13Gr 地山直上層	口径 32.7	口縁部は上下に若干拡張し端面に3条 の凹線文を施す。また、内面にも4条 の凹線文を施す。松本N-2周。	口縁部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰褐色	反転復元。
71 - 1	弥生土器 壺	1区 14Gr 地山直上層	口径 20.5	口縁部は単純に外折し端部は若干厚す る。底部は「く」字状に扭曲する。松本 N周。	口縁部 内外面:ナデ 胴部上半 内外面:ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰褐色	反転復元。
71 - 2	弥生土器 壺	1区 14Gr 地山直上層	口径 15.0	口縁部は微く外折し、底部は「く」字状 に扭曲する。松本N-1周。	口縁部 内外面:ナデ 胴部上半 外側:ハケ後ナデ 内面:ハケ	①1mm以下の砂粒を多く含む ②やや良 ③褐色	反転復元。
71 - 3	弥生土器 壺	1区 14Gr 地山直上層	口径 18.0	口縁部は上下に拡張し端面に2条の凹 線文と粗目文を施す。その後、2つ円 形文を貼り付ける。松本N-1周。	口縁部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰褐色	反転復元。

検出番号	器種	出土地点	法長(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
71-4	弥生土器 甕	1区 8Gr 地山直上層	口径 16.9	口縁部は上方に拡張し縁面に2条の凹線文を巡らす。松本IV-1周。	口縁部・胴部上半 内外面：ナデ 脚部上半 外腹：ナデ後ミガキ？ 内面：ケズリ	① 0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
71-5	弥生土器 甕	1区 7-8Gr 地山直上層	口径 20.2	口縁部外面に3条の凹線文を巡らす。草田1周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外腹：ナデ後ミガキ？ 内面：ケズリ	① 2.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②良 ③淡褐色	反転復元。
71-6	弥生土器 甕	1区 13Gr 地山直上層	口径 14.8	口縁部外面に5条の平行沈縞を巡らす。草田2周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外腹：不明 内面：ケズリ	① 1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③淡黄色	反転復元。
71-7	弥生土器 甕	1区 1Gr 地山直上層	口径 14.5	口縁部外面に5条程度の平行沈縞を巡らす。草田2周。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③灰白色	反転復元。
71-8	弥生土器 高环	1区 7Gr 地山直上層	脚端径 13.5	脚部外面に5条の凹線文を巡らす。松本IV周。	脚部 外腹：ハケ後ナデ？ 内面：ケズリ	① 0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③淡黄褐色	反転復元。
71-9	弥生土器 高环 or 盆台	1区 16Gr 地山直上層	脚端径 15.8	脚部外面に6条の凹線文を巡らす。草田1周。	脚部 外腹：ナデ 内面：ケズリ	① 2mm以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
71-10	弥生土器 釜	1区 14Gr 地山直上層	底径 11.0	平底。脚部外縁と底部外縁の境界線は羽度である。松木直用。	脚部下半 外腹：ミガキ 内面：ハケ 底部 外腹：ナデ 内面：オサエ	① 3mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
71-11	弥生土器 甕	1区 14Gr 地山直上層	底径 12.9	平底。松木Ⅲ～Ⅳ周。	脚部下半 外腹：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外腹：ナデ 内面：不明	① 3mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
71-12	弥生土器 甕	1区 10Gr 地山直上層	底径 13.1	平底。草田1周以降。	脚部下半 外腹：ハケ 内面：ケズリ 底部 外腹：ナデ 内面：ケズリ	① 2.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
72-1	土器器 环	1区 12Gr 地山直上層	口径 11.9 底径 8.8 脚高 3.3 (测定)	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。内外面に赤色彩痕を残す。奈良時代。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外腹：不明 内面：回転ナデ	①ほとんど砂粒を含まず密 ②良 ③淡褐色	反転復元。
72-2	土器器 环	1区 10-11Gr 地山直上層	底径 7.3	器壁は底部から体部にかけて内湾し立ち上がる。10世紀？	体部 内外面：ナデ 底部 外腹：回転糸切り 内面：ナデ	① 0.5mm以下の砂粒を少し含む ②良 ③淡黄褐色	反転復元。
72-3	土器器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 12.0 底径 5.4 脚高 4.5	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁部で若干外反し開口する。10～11世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外腹：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに4mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③淡黄褐色	反転復元。
72-4	土器器 环	1区 7Gr 47'付	口径 12.8	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁部で若干外反し開口する。底部外縁に高台の剥離痕が残る。10～11世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外腹：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 1mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③淡黄褐色	反転復元。

件名番号	器種	出土地点	法身(cm)	基盤・文化の特徴	手法の特徴	①船上 ②焼成 ③色調(地)	備考
72-5	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 14.2 高径 10.0 底高 7.4	基盤は底盤から体部にかけて内溝気味に立ち上がる後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に「八」字状に広く開く高台を貼り付ける。11世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: ナデ 内面: 回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。 胎土に繊が混ざっている。
72-6	土師器 环	1区 6-7Gr 底	口径 15.3 高径 10.5 底高 7.3	基盤は底盤から体部にかけて若干内溝して立ち上がる後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に「八」字状に広く開く高台を貼り付ける。11世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: 回転糸切り後ナガ 内面: 回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。 胎土に繊が混ざっている。
72-7	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 14.1	基盤は底盤から体部にかけて若干内溝して立ち上がる後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に「八」字状に広く開く高台を貼り付ける。11-12世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: ナデ 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
72-8	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 14.5 高径 8.8 底高 6.7	基盤は底盤から体部にかけて内溝気味に立ち上がる後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に「八」字状に広く開く高台を貼り付ける。11-12世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: ナデ 内面: 回転ナデ	①まれに 2.5mm 大の砂を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
72-9	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 12.7	基盤は底盤から体部にかけて若干内溝して立ち上がる後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に高台の剥離感が残る。11世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: 回転糸切り後ナガ 内面: 回転ナデ	①5mm以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
72-10	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 12.7	基盤は底盤から体部にかけて僅かに内溝した後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に高台の剥離感が残る。11世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: ナデ 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
72-11	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	高径 7.8	基盤は底盤から体部にかけて内溝気味に立ち上がる。「八」字状に開く高台を貼り付け、「×」印状のヘラによる線彫りが残る。10-11世紀。	体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: ナデ 内面: 回転ナデ	①まれに 5mm 大の砂を含むが 少 ②良好 ③にぶい黄褐色	反転復元。
72-12	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 11.7 底径 5.4 底高 4.9	基盤は底盤から口縁部にかけて内溝的に立ち上がるが開口する。底面外縁に 3 条の平行な内溝が残る。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①まれに 3mm 大の砂を含むが 少 ②良好 ③にぶい黄褐色	反転復元。 胎土に繊が混ざっている。
72-13	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 11.8 底径 6.0 底高 4.9	基盤は底盤から体部にかけて僅かに内溝するが口縁部にかけては直線的に立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をほとんど含まず ②良好 ③にぶい黄褐色	反転復元。
72-14	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 12.7 底径 6.8 底高 4.4	基盤は底盤から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。底面外縁に 2 条の平行な内溝が残る。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: ナデ 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含むが少 ②良好 ③にぶい黄褐色	反転復元。
72-15	土師器 环	1区 7Gr 地山直上剥 底	口径 11.3 底径 5.1 底高 4.4	底盤でやや絞られた器盤は体部にかけて僅かに内溝するが口縁部にかけては直線的に立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まず ②良好 ③にぶい黄褐色	反転復元。
72-16	土師器 环	1区 6-7Gr 底	口径 13.3 底径 7.0 底高 4.7	基盤は底盤から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外縁: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが少 ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。

件番号	器種	出土地点	法寸(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
73-17	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 17.5 底径 5.4 器高 4.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。外面に赤褐色を施す。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
73-1	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.5 底径 5.3 器高 4.6	底部で若干絞られた器壁は体部にかけて内側気味に立ち上った後に口縁部付近で細かに外反し開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
73-2	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 12.2 底径 6.1 器高 5.4	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内側気味に立ち上った後に口縁部付近でやや外反し開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄色	
73-3	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 12.2 底径 5.9 器高 4.6	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内側気味に立ち上った後に口縁部付近で細かに外反し開口する。底部外面に1条の金溝を残す。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
73-4	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 12.1 底径 5.9 器高 4.8	底部で絞られた器壁は体部にかけて内側気味に立ち上った後に口縁部付近で細かに外反し開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を少し含むが密 ②良好 ③にぶい黄褐色	反転復元。
73-5	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.8 底径 5.6 器高 4.5	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内側気味に立ち上った後に口縁部付近で細かに外反し開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
73-6	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.2 底径 6.0 器高 4.6	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内側して立ち上った後に口縁部付近でやや外反し開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
73-7	土師器 环	1区 7Gr ガラス	口径 12.0 底径 5.5 器高 4.3	器壁は底部から体部にかけて若干内溝するが口縁部にかけて直線的に立ち上がる。底部外面に3条の平行な金溝が残る。12世紀。	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: ナデ	①7mmの大粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
73-8	土師器 环	1区 10-11Gr 地山直上層	口径 底径 器高	底部で僅かに絞られた器壁は体部にかけて直線気味に立ち上った後に口縁部付近でやや外反し開口する。12世紀。	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③浅黄色	反転復元。
73-9	土師器 环	1区 7Gr ガラス	口径 11.7 底径 5.5 器高 4.2	底部で絞られた器壁は体部にかけて若干内溝して立ち上った後に口縁部付近で細かに外反し開口する。12世紀。	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①4mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
73-10	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 12.8 底径 5.3 器高 4.0	器壁は底部から体部にかけて内側気味に立ち上った後に口縁部付近で若干外反し開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①まれに3mmの大粒を含むが密 ②良好 ③にぶい褐色	反転復元。
73-11	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 13.2 底径 6.0 器高 4.2	底部で絞られた器壁は体部にかけて細かに内溝した後に口縁部付近でやや外反し開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
73-12	土師器 环	1区 10-11Gr 地山直上層	口径 13.0 底径 5.1 器高 4.0	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内側気味に立ち上った後に口縁部付近で外反し開口する。12世紀。	口縁部・体部 内外側: 回転ナデ 底部 外面: 回転糸切り 内面: ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。

伴岡番号	形 種	出土地點	出土品(件)	形態・文様の特徴	手拭の特徴	①歯土 ②焼成 ③色調(地)	考
73 - 13	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.5 底径 4.5 器高 4.0	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。全面に赤色施彩を施す。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
73 - 14	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 10.8 底径 4.8 器高 4.1	底部で絞られた器壁は体部にかけて内肉気味に立ち上がった後に口縁部付近で若干外反して開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にい黄褐色	反転復元。
73 - 15	土師器 环	1区 7Gr 77番付	口径 12.0 底径 4.8 器高 3.9	底部で絞られた器壁は体部にかけて内肉気味に立ち上がった後に口縁部付近で若干外反して開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
73 - 16	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.4 底径 4.9 器高 5.1	底部で絞られた器壁は体部にかけて内肉気味に立ち上がった後に口縁部付近で若干外反して開口する。12世紀	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③にい黄褐色	反転復元。
73 - 17	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.2 底径 4.2 器高 4.2	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて若干内肉味として立ち上がった後に口縁部付近で僅かに外反して開口する。12 - 13世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にい黄褐色	反転復元。
73 - 18	土師器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 10.6 底径 4.7 器高 4.7	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内肉気味として立ち上がった後に口縁部付近で僅かに外反して開口する。12 - 13世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①まれに4mmの大粒を含む ②やや良 ③にい黄褐色	反転復元。
74 - 1	土師器 皿	1区 7Gr 地山直上層	口径 10.4 底径 4.1 器高 2.7	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内肉味立ち上がる。11 - 12世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	充用。 歯土に割が覆されている。
74 - 2	土師器 皿	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.2 底径 4.5 器高 3.2	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内肉味立ち上がる。11 - 12世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にい黄褐色	反転復元。
74 - 3	土師器 皿	1区 10 - 11Gr 地山直上層	口径 10.8 底径 4.4 器高 2.8	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 外表面: 回転ナデ 内表面: ナデ 底部: 器底 外表面: 回転糸切り 内表面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にい黄褐色	反転復元。
74 - 4	土師器 皿	1区 7Gr 地山直上層	口径 9.7 底径 3.8 器高 2.8	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 外表面: 回転ナデ 内表面: ナデ 底部: 器底 外表面: 回転糸切り 内表面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③灰白色	反転復元。
74 - 5	土師器 皿	1区 10 - 11Gr 地山直上層	口径 11.0 底径 4.3 器高 2.9	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部: 器底 外表面: 回転糸切り 内表面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③にい褐色	反転復元。
74 - 6	土師器 皿	1区 10 - 11Gr 地山直上層	口径 11.4 底径 5.2 器高 3.3	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 内外面: ナデ 底部: 器底 外表面: 回転糸切り 内表面: ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや白 ③浅黄褐色	反転復元。

標本番号	器種	出土地点	法長(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
74-7	土器器 蓋	1区 7-8Gr 地山直上層	口径 17.5	口縁部は單純に外反し腹部は「く」字状に屈曲する。奈良時代。	口縁部 外側:ナデ 内面:ハケ 縁部上半 外裏:ハケ 内面:ケズリ	①1mm以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぶい褐色	反転復元。
75-1	須恵器 環	1区 3Gr 地山直上層	不 明	环部の器壁は内捲気味に立ち上がる。环部と脚部は別々に作った後に接合する。奈良時代。	环部・脚部 内外面:回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
75-2	須恵器 蓋	1区 8Gr 3層	口径 13.8	口縫端部を下方に若干引き出す。高広N 周。	口縫部・甲部 内外面:回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
75-3	須恵器 蓋	1区 8Gr 地山直上層	口径 12.6	口縫端部を下方に若干引き出す。高広N 周。	口縫部・甲部 内外面:回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
75-4	須恵器 蓋	1区 14Gr 地山直上層	口径 19.8	口縫端部を下方に若干引き出す。後の剥 離痕が残る。高広N B周。	口縫部・甲部 内外側:回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含むが密 ②良好 ③灰色	反転復元。 口縫部外側に自然跡がかかる。
75-5	須恵器 环	1区 7Gr 地山直上層	口径 14.4	器壁は底部から口縫部にかけて内肉して 立ち上がる。高広N B~N A周。	口縫部・体部 内外面:回転ナデ 底部 外裏:回転へら起し?	①1.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
75-6	須恵器 环	1区 5Gr 地山直上層	口径 12.0	器壁は底部から体部にかけて内肉気味に 立ち上がる。高広N B~N A周?	口縫部・体部 内外面:回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
75-7	須恵器 环	1区 7Gr 地山直上層	高台径 9.8	器壁は体部から向かい内肉氣味に 立ち上がる。底面外縁に低い高台を 貼り付ける。また、底部内面には へらによる剥離の余痕が残る。高広N B~N A周。	体部 内外面:回転ナデ 底部 外裏:回転へら起し後ナデ	①2mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③灰色	反転復元。
75-8	須恵器 环	1区 12Gr 地山直上層	高台径 8.9	器壁は体部に向かい内肉して立ち上が る。また、底面外縁内寄りに低い高台を 貼り付ける。高広N A周。	体部 内外面:回転ナデ 底部 内外面:ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	
75-9	須恵器 环	1区 20Gr 地山直上層	高台径 10.2	器壁は体部に向かい若干内肉して立ち上が る。また、底面外縁や中内寄りに低い高 台を貼り付ける。高広N B~N A周。	体部 内外面:回転ナデ 底部 外裏:回転へら起し後ナデ 内裏:ナデ	①17mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75-10	須恵器 环	1区 20Gr 地山直上層	高台径 10.6	器壁は体部に向かい若干内肉して立ち上が る。また、底面外縁や中内寄りに低い高 台を貼り付ける。高広N B~N A周。	体部 内外面:回転ナデ 底部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒をやや多く含む ②良好 ③灰色	反転復元。 底面外側に自然 跡が付着して いる。
75-11	須恵器 环	1区 8Gr 地山直上層	高台径 10.8	底面外縁に低い高台を貼り付ける。高広 N周。	体部 内外面:ナデ	①3mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75-12	須恵器 环	1区 7Gr 地山直上層	高台径 11.2	器壁は体部に向かい直線的に立ち上が る。底面外縁に低い高台を貼り付ける。 高広N B周。	体部 内外面:回転ナデ 底部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75-13	須恵器 环	1区 9Gr 地山直上層	高台径 8.8	器壁は体部に向かい直線的に立ち上が る。底面外縁に低い高台を貼り付ける。 高広N B周。	体部 内外面:回転ナデ 底部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75-14	須恵器 环	1区 7Gr 地山直上層	高台径 6.1	器壁は体部に向かい直線的に立ち上が る。また、底面外縁や中内寄りに低い高 台を貼り付ける。高広N B周。	体部 内外面:回転ナデ 底部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75-15	須恵器 环	1区 5Gr 地山直上層	高台径 8.2	底面外縁に低い高台を貼り付ける。高広 N B周。	体部 内外面:ナデ	①2mm以下の砂粒を含むが密 ②普通 ③灰白色	反転復元。

検出番号	器種	出土地点	法寸(cm)	形態・文様の特徴	手技の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
75-16	須恵器 环	1区 13Gr 地山直上層	口径 11.6 底径 9.7 高さ 4.7	基盤は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。高広肩A型。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転条切り 内面：ナデ	①砂粒をあまり含まず ②やや不良 ③灰白色	反転復元。
75-17	須恵器 瓶	1区 7Gr ガラシ付	口径 12.5 底径 9.7 高さ 2.8	基盤は底部から口縁部にかけて横かに内湾し立ち上がる。高広肩A型。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転条切り後ナデ 内面：回転ナデ	①3mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄色	反転復元。
75-18	須恵器 瓶	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.7 底径 9.1 高さ 2.1	基盤は底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。高広肩A型?	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：ナデ 内面：回転ナデ	①まれに 2.5mm 大の砂を含む ②良 ③灰白色	反転復元。
75-19	須恵器 瓶	1区 8Gr 3層	底径 13.9	基盤は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。高広肩A型。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：ナデ 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
76-1	製塙土器	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.0	基盤は口縁端部で厚厚するが、下方では薄くなる。形態は泡弾状を呈すると考えられる。	口縁部・体部 内外面：オサエ後ナデ	① 8mm 大の砂を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。 手脱。
76-2	製塙土器	1区 7Gr 地山直上層	口径 11.2	口縁端部を丸く收める。形態は泡弾状を呈すると考えられる。	口縁部 内外面：オサエ後ナデ	① 2.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。 手脱。
76-3	製塙土器	1区 7Gr 地山直上層	口径 10.8	口縁部はやや内湾する。基盤はやや肥厚し丸くおきめる。形態は泡弾状を呈すると考えられる。	口縁部 内外面：オサエ後ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。 手脱。
76-4	製塙土器	1区 7Gr 地山直上層	口径 9.2	口縁端部は肥厚し丸い。形態は泡弾状を呈すると考えられる。	口縁部 内外面：オサエ後ナデ	① 3mm 以下の砂粒を多く含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。 手脱。
76-5	土製品 土器	1区 7Gr ガラシ付	長さ 9.7 幅 3.3 孔径 0.9	管状結構土器。	表面：オサエ後ナデ?	①砂粒をほとんど含まない ②普通 ③にぶい黄褐色	
76-6	土製品 土器	1区 7Gr 地山直上層	長さ 7.1 幅 1.9 孔径 0.5	管状結構土器。	表面：オサエ、タキキ後 ナデ?	①砂粒をあまり含まない ②良 ③にぶい黄褐色	
76-7	土製品 土器	1区 7Gr 地山直上層	長さ 5.1 幅 1.6 孔径 0.4	管状結構土器。	表面：オサエ後ナデ	①0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰白色	
77-1	陶器 瓶?	1区 13Gr 地山直上層	口径 11.5	基盤は直脚付近くから口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず ②良好 ③釉：暗オリーブ灰色 地：にぶい黄褐色	反転復元。
77-2	陶器 瓶	1区 10Gr 地山直上層	不明	基盤は体部内で内湾するが口縁部付近でやや外反し窪にする。16世紀?	口縁部・体部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず ②良 ③釉：黒褐色 地：にぶい黄褐色	反転復元。 廻戸・共通施。
77-3	陶器 瓶	1区 10Gr 地山直上層	高台付 6.0	底面に低い高台を有し、「重円體火」と「天下太平」の文字を描く。16世紀中頃~末頃。	底部 内外面：施釉	①砂粒を含まず ②良好 ③釉：灰オリーブ色 地：灰白色	輸入品。
77-4	陶器 瓶	1区 18-19Gr ガラシ付	高台付 6.5	底面に低い高台を削り出す。見込み部分中央付近に崩土が 2 重所あり。17世紀。	体部 外側：一部施釉 内側：施釉 底部 内外面：施釉	①砂粒をあまり含まず ②良好 ③釉：灰オリーブ色 地：灰白色	反転復元。 直接焼。
84-1	外生土器 甕	2区 58Gr	口径 16.7	單口 1用。	口縁部 内外面：ナデ 側面部：ナデ 外側：不明 内面：ケズリ	①1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。

標番番号	器種	出土地点	法徳(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①陶土 ②焼成 ③色調(地)	備考
84-2	土師器 环	2区 SK04 1層	口径 11.9 底径 11.9	器壁は底部付近から口縁部にかけて内側して立ち上がる。13世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。 84-3と同一個体。
84-3	土師器 环	2区 SK04	口径 11.9	器壁は底部付近から口縁部にかけて内側して立ち上がる。13世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。 84-2と同一個体。
84-4	土師器 环	2区 SK04 1層	底径 4.7	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内側突起で立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②密 ③にぶい褐色	反転復元。
84-5	土師器 皿	2区 SK04 1層	口径 6.9 底径 3.6 高さ 2.1	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて若干内側して立ち上がる。13世紀後半～14世紀前頭？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③褐色	
84-6	土師器 皿	2区 SK04 1層	口径 7.5 底径 4.2 高さ 1.8	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて点線的に開口する。14世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
84-7	須恵器 蓋	2区 SK04	不明	やや凸面状に反る甲部外面に宝珠状模を貼り付けた。高広IV B期？	甲部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰褐色	
86-1	土師器 皿	2区 SK18	口径 6.8 底径 3.3 高さ 2.1	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内側して立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①3mmの大粒を含むが密 ②良 ③浅黄褐色	反転復元。 外面の一部に灰褐色がかかる。
86-2	土師器 皿	2区 SK18 3層	口径 7.4 底径 4.0 高さ 2.0	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③褐色	ほぼ完形。
86-3	土師器 皿	2区 SK18 4～7層	口径 6.7 底径 3.5 高さ 1.8	底部で若干絞られた器壁は体部にかけてやや内側して立ち上がった後に口縁部で僅かに外反し開口する。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
86-4	土師器 皿	2区 SK18 4～7層	口径 6.8 底径 3.6 高さ 2.0	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内側して立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③褐色	ほぼ完形。 外面の一部に灰褐色がかかる。
86-5	土師器 皿	2区 SK18 3層	口径 6.7 底径 3.3 高さ 2.2	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内側して立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③褐色	ほぼ完形。 外面の一部に灰褐色がかかる。
86-6	土師器 皿	2区 SK18 3層	口径 7.2 底径 3.8 高さ 2.3	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内側して立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①10mmの大粒を含む ②良 ③褐色	ほぼ完形。 外面の一部に灰褐色がかかる。
86-7	土師器 皿	2区 SK18 3層	口径 7.0 底径 3.5 高さ 2.2	底部で若干絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内側して立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③褐色	外面の一部に灰褐色がかかる。
86-8	土師器 皿	2区 SK18 3層	口径 6.5 底径 3.3 高さ 1.9	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内側して立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③褐色	反転復元。 外面の一部に灰褐色がかかる。

辨別番号	形 種	出土地点	基準(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①鉛土 ②焼成 ③色調(地)	備 考
86-9	土師器 皿	2区 SK18 2層	口径 底径 高さ	7.3 3.9 2.8	底盤は若干破られた部は口縁部にかけて僅かに内側に立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色 反転復元。 全面に黒が付着し黒色を呈する。
86-10	土師器 皿	2区 SK18 3層	口径 底径 高さ	6.8 3.9 2.5	器壁は底盤から口縁部にかけて僅かに内側に立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色 反転復元。
86-11	土師器 皿	2区 SK18 4層	口径 底径 高さ	10.3 4.0 2.8	器壁は底盤から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り後ナデ 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色 反転復元。
86-12	土師器 皿	2区 SK18	口径 底径 高さ	11.5 4.2 3.1	器壁は底盤から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: ナデ消し 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色 反転復元。
86-13	土師器 皿	2区 SK18 3層	口径 底径 高さ	11.4 4.0 3.1	器壁は底盤から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色 反転復元。
86-14	土師器 皿	2区 SK18 7層	口径 底径 高さ	10.8 4.0 3.0	器壁は底盤から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色 反転復元。
86-15	土師器 皿	2区 SK18 5層	口径 底径 高さ	10.3 4.9 2.7	器壁は底盤から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色 反転復元。
86-16	土師器 皿	2区 SK18 4層	口径 底径 高さ	10.6 4.3 2.4	器壁は底盤から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り後ナデ 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅色 反転復元。
86-17	土師器 皿	2区 SK18 4層	口径 底径 高さ	13.8 5.3 3.3	器壁は底盤から口縁部にかけて外反気味に立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色 反転復元。
89-1	土師器 皿	2区 SK19 1層	口径 底径 高さ	12.9 5.5 3.3	器壁は底盤から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀?	口縁部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色 反転復元。
92-1	土師器 杯 or 甌	2区 SK21 1層	底径	4.8	底盤でやや破られた部は体部に向かい若干内側して立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り後ナデ? 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色 反転復元。
92-2	土師器 甌	2区 SK21 1層	口径 底径 高さ	5.8 3.0 1.9	底盤でやや破られた部は口縁部にかけてやや内側して立ち上がる。12~13世紀。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色 反転復元。
94-1	土師器 甌	2区 SK22 1層	底径	6.4	器壁は底部から体部に向かい底盤的に立ち上がる。12世紀?	体部 内外面: 回転ナデ 底盤 外周: 回転糸切り後ナデ 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色 反転復元。

検出番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手技の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
94-2	土師器 环	2区 SK22 1層	底径 6.3	底部で絞られた器壁は体部に向かい外反気味に立ち上がる。12世紀?	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り後ナデ? 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良好 ③にぶい褐色	反転復元。
94-3	土師器 环	2区 SK22 1層	底径 5.2	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。13世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
94-4	土師器 环	2区 SK22 1層	底径 4.7	底部をやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。12~13世紀?	底部 内外面: 回転糸切り後ナデ 内面: ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
94-5	土師器 环	2区 SK22 2層	底径 3.9	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
94-6	土師器 环	2区 SK22 1層	底径 3.4	底部を強く絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③褐色	反転復元。
96-1	土師器 环	2区 SK23 1層	底径 5.4	器壁は底部から体部に向かい若干内側に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
96-2	土師器 环	2区 SK23 1層	底径 5.4	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
96-3	土師器 环	2区 SK23 1層	底径 4.3	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
96-4	土師器 环	2区 SK23 1層	底径 4.5	器壁は底部から体部に向かい外反気味に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
96-5	土師器 环	2区 SK23 1層	底径 5.2	底部をやや絞る。	底部 内面: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	
96-6	土師器 环	2区 SK23 1層	底径 3.9	底部で絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	
96-7	土師器 环	2区 SK23	底径 4.5	底部をやや絞られた器壁は体部に向かいやや内側した後に若干外反し立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
96-8	土師器 环	2区 SK23	底径 4.3	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。

発掘番号	器種	出土地点	法長(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
96-9	土師器 皿	2区 SK23	直径 3.1	器壁は底部から体部に向かい僅かに内湾し立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
96-10	土師器 皿	2区 SK23	直径 3.0	器壁は底部から体部に向かい僅かに内湾し立ち上がるようである。	底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をほとんど含まない ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
96-11	土師器 平	2区 SK25	口径 11.0 底径 5.4 器高 3.2	器壁は底部から体部にかけてやや内湾して立ち上った後に口部部で若干外反し口にする。12世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
96-12	土師器 平	2区 SK25	底径 4.9	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	底面にスノコ状 圧痕が残る。
96-13	土師器 平?	2区 SK25	底径 4.7	器壁は底部から体部に向かい僅かに外反し立ち上がる。	体部 内外面：ナデ 底部 外側：回転糸切り後ナデ? 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
96-14	土師器 皿	2区 SK25	口径 12.9 底径 7.1 器高 2.2	器壁は底部から口縁部にかけて外反気味に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り後ナデ? 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄色色	反転復元。
96-15	土師器 皿	2区 SK25	口径 7.4 底径 4.1 器高 2.2	底部で絞られた器壁は口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
96-16	土師器 皿	2区 SK25	底径 3.6	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	
100-1	陶器器 皿	2区 SK27	高台径 5.4	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。疊付以外に施釉を施す。	体部・底部 内外面：施釉	①古 ②良好 ③釉：オリーブ灰褐色 地：灰色	肥前系。 買入有り。
100-2	陶器器 皿	2区 SK27	高台径 4.7	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。体部外側と高台の外側に円筒突を施す。疊付以外に施釉を施す。	体部・底部 内外面：施釉	①古 ②良好 ③釉：灰オリーブ色 地：灰色	反転復元。
100-3	陶器器 皿	2区 SK27	高台径 4.8	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。体部と高台の外側に象目付け有り。疊付以外に施釉を施す。	体部・底部 内外面：施釉	①砂粒をあまり含まない ②良好 ③釉：オリーブ灰褐色 地：灰色	反転復元。 肥前系。 買入有り。
100-4	陶器器 皿	2区 SK27	高台径 4.2	底面に高台を削り出す。内面に同心円状の染め付けが2条有り。底部内面の一部と疊付以外に施釉。	底部 内外面：施釉	①織密 ②良好 ③釉：灰白色	反転復元。 肥前系。
100-5	陶器器 皿	2区 SK27	高台径 7.9	底面に高台を削り出す。内面に染め付け有り、底部内面の一部と疊付以外に施釉。16世紀。	底部 内外面：施釉	①織密 ②良好 ③釉：灰白色	反転復元。 肥前系。
102-1	土師器 平	2区 SK28 1号	底径 5.3	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。

辨証番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①陶土 ②焼成 ③色調(地)	備考
104-1	土師器 环	2区 SK30 1層	底径 7.7	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：ナデ？	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③淡黄褐色	反転復元。
104-2	土師器 环	2区 SK30 1層	底径 6.7	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③淡黄褐色	反転復元。
104-3	土師器 环	2区 SK30 1層	底径 6.7	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ？	①2.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③淡黄褐色	反転復元。
104-4	土師器 环	2区 SK30 1層	底径 5.5	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい若干外反して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③淡黄褐色	反転復元。
104-5	土師器 環	2区 SK30	口径 7.7 底径 3.6 器高 2.2	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁部で僅かに外反し閉口する。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③淡黄褐色	反転復元。
106-1	土師器 环	2区 SK32 1層	底径 5.0	底部で若干絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がるようである。	底部 外側：回転糸切り 内面：ナデ？	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③淡黄褐色	反転復元。
106-2	瓦質土器？ 火葬？	2区 SK32 1層	不 明	口縁部に平坦面を有する。	口縁部 内外面：ハケ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰白色	器壁内部の陶土の色は表面近くと異なる。
108-1	土師器 环	2区 SK05	底径 4.3	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
108-2	土師器 環	2区 SK05	口径 8.1 底径 5.8 器高 2.3	底部で絞られた器壁は口縁部にかけて内湾して立ち上がる。13世紀後半～14世紀初？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
108-3	土師器 環	2区 SK05	口径 7.9 底径 5.5 器高 1.9	器壁は絞られた器壁は口縁部にかけて内湾して立ち上がる。13世紀後半～14世紀初？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：不明	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
108-4	土師器 环	2区 SK06	底径 7.2	器壁は底部から体部に向かいやや内湾して立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ？ 底部 外側：回転糸切り 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③淡黄褐色	反転復元。
108-5	土師器 环	2区 SK06 1層	底径 6.6	器壁は底部から体部に向かいやや外反気味に立ち上がるようである。	底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良好 ③淡黄褐色	反転復元。
108-6	土師器 环	2区 SK09 2層	底径 6.6	底部をやや絞る。	底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
108-7	土師器 環	2区 SK12 1層	不 明	口縁部は單純に外反し、底部を丸くおさめる。古墳時代。	口縁部 外側：ナデ後ハケ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい褐色	

標識番号	器種	出土地点	法長(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①基上 ②焼成 ③色調(地)	備考
108 - 8	陶器型 鏡	2区 SK15 1層	高台形 4.1	基盤は底面から体部に向かい内側気味に立ち上がる。内面に筋目模有り。底面に高台を削り出す。内面と外周の一部に施釉。17世紀後半。	体部 内外面：施釉 底面 外周：回転ナデ 内面：施釉	①15mm以下の砂粒を含む ②良好 ③釉：オリーブ灰色 地：にぶい黄褐色	反転復元。 底津沖。
108 - 9	土師器 环	2区 SK16 2層	底径 4.3	基盤は体部に向かい内側気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底面 外周：回転糸切り 内面：ナデ？	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③褐色	反転復元。
108 - 10	陶器型 鏡	2区 SK16 2層	口径 13.4	内面と外周の一部に施釉。	口縁部 内外面：施釉 体部 外周：回転ナデ 内面：施釉	①砂粒をほとんど含まず ②良好 ③釉：オリーブ灰色 地：灰褐色	反転復元。 底津系。
108 - 11	漆生土器 甕	2区 SK24	不明	腹側部の縁は水平方向に突出する。	口縁部 内外面：ナデ 肩部上手 外周：ケヅ? 内面：ケヅリ	①15mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
108 - 12	土師器 环	2区 SK24	底径 5.2	基盤は底面から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底面 外周：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄褐色	反転復元。
108 - 13	土師器 环?	2区 SK24	底径 5.0	底部をやや絞る。	底部 外周：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2.0mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい褐色	反転復元。
108 - 14	土師器 甕	2区 SK24	底径 3.1	底部を絞る。12~13世紀。	底部 外周：回転糸切り 内面：四輪ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	表面にスノコ状 压痕が残る。
108 - 15	土師器 甕	2区 SK24	底径 3.9	底部をやや絞る。	底部 外周：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
111 - 1	土師器 环	2区 P0901 1層	底径 5.1	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内側気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外周：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
111 - 2	土師器 甕	2区 P0901 1層	口径 11.4 底径 5.7 基盤 2.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	口縁部：体部 内外面：回転ナデ 底部 外周：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
111 - 3	土師器 甕	2区 P0901 1層	底径 3.9	底部で若干絞られた器壁は体部に向かい内側気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外周：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
111 - 4	土師器 环	2区 P1004 2層	底径 5.9	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外周：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
111 - 5	土師器 环	2区 P1004 2層	底径 5.9	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がるようである。	底部 外周：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
111 - 6	土師器 甕	2区 P1004	底径 3.4	底部で僅かに絞られた器壁は体部に向かい内側気味に立ち上がるようである。	底部 外周：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	

標識番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・様様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
III-7	土師器 灰	2区 P1005 1層	底径 5.5	器壁は底部から体部に向かい内溝気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：ナデ？	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
III-8	土師器 灰	2区 P1005 1層	底径 5.8	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内溝気味に立ち上がるようである。	底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
III-9	土師器 灰	2区 P1006	底径 7.6	器壁は体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
III-10	土師器 灰	2区 P1006	底径 5.1	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内溝気味に立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	
III-11	土師器 灰	2区 P1006	口径 7.4 底径 3.9 器高 2.5	器壁は底部から体部にかけて僅かに内溝して立ち上がった後に口縁部で若干外反し開口する。12世紀？	口部・ 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
III-12	土師器 灰	2区 P1007 1層	口径 11.9 底径 5.3 器高 3.9	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反し立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
III-13	土師器 灰	2区 P1007 1層	底径 6.8	器壁は底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
III-14	土師器 灰	2区 P1007 1層	口径 7.1 底径 3.9 器高 2.5	底部で絞られた器壁は口縁部にかけて若干内溝し立ち上がる。12世紀。	口部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
III-15	土師器 灰	2区 P1008 1層	口径 10.9 底径 5.2 器高 3.2	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。	口部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
III-16	土師器 灰	2区 P1008 1層	底径 4.8	器壁は底部から体部にかけてやや外反して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
III-17	土師器 灰	2区 P1008 1層	口径 7.8 底径 3.7 器高 2.4	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて内溝して立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り？ 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
III-18	土師器 灰	2区 P1008	口径 7.3 底径 3.7 器高 2.2	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて内溝気味に立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
III-19	土師器 灰	2区 P1008 1層	底径 3.9	底部を強く絞る。	底部 外側：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	

件名番号	基 础	出土地位	法尺(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備 考	
111-20	土師器 盤	2区 P1009	口径 底径 器高	11.2 6.0 2.9	器壁は底盤から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 体部 外側: 回転糸切り 内面: 不明	①砂粒をほとんど含まない ②中や良 ③浅黄褐色	反転復元。 口縁部欠損の可能性あり。
111-21	土師器 环	2区 P1014 2号	底径	5.6	底部を強く絞る。	底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
111-22	土師器 环	2区 P1014 3号	底径	5.1	器壁は底盤から体部にかけて直線的に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
111-23	陶磁器 盘	2区 P1014 1号	高台径	6.5	器壁は底盤から体部にかけて内湾して立ち上がった後に口縁部で外にする。底部に高台を削り出す。底部の内外面以外に施墨。15世紀。	体部 内外面: 施墨 底部 内外面: 施墨	①青 ②良好 ③青: 明瞭灰色 地: 灰白色	反転復元。 施墨。
111-24	土師器 环	2区 P1017	口径 底径 器高	7.8 3.8 1.9	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる。	口縁部・底部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄褐色	反転復元。
111-25	土師器 环	2区 P101 1号	底径	6.4	器壁は底盤から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②中や良 ③浅黄褐色	反転復元。
111-26	土師器 环	2区 P1301 1号	底径	4.9	器壁は底盤から体部に向かい直線的に外反して立ち上がる。12世紀?	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②中や良 ③にぶい黄褐色	
111-27	土師器 环	2区 P1301 1号	底径	6.0	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい直線的に内湾して立ち上がる。12世紀?	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②中や良 ③にぶい黄褐色	
111-1	土師器 环	2区 SD01 #111+12	口径 底径 器高	12.4 4.4 4.2	器壁は丸瓶を模した底盤から口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる。全面に赤色塗装を施す。古時時代後期?	体部 内外面: ナデ 底部 外側: ハケ 内面: ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③赤褐色	反転復元。
111-2	土師器 环	2区 SD01	口径 底径 器高	6.8 6.8 2.8	器壁は底盤から口縁部にかけて直線的に大きく絞く。10世紀?	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄褐色	反転復元。
111-3	土師器 环	2区 SD01	底径	5.2	器壁は底盤から体部にかけて若干内湾して立ち上がる。	体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②中や良 ③浅黄褐色	反転復元。
111-4	土師器 环	2区 SD01 #111+13	口径 底径 器高	7.7 3.5 1.8	器壁は底盤から口縁部にかけて直線的に内湾して立ち上がる。	口縁部・体部 内外面: 回転ナデ 底部 外側: 回転糸切り 内面: 回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②中や良 ③浅黄褐色	反転復元。
111-5	燒成器 皿?	2区 SD01 2号	底径	13.8	体部と底部の境に巻きをなす。	体部 内外面: ナデ 底部 外側: 回転糸切り後ナデ 内面: ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③灰黄色	反転復元。

標本番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
113-6	陶磁器 擦拂	2区 SD01 77号分	不 明	幅の広い口縁部はぼんやり立し、下邊は少し下方に突出する。内面と口縁部や下辺まで施釉。15世紀。	口縁部 内外面：施釉	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良好 ③緑・地：暗赤褐色	無鉄錆。
114-1	弥生土器 甕	2区 SD02 2号	不 明	口縁部は上下に若干干張りし、端面に2条の凹線文を這らす。松本N-1	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	
114-2	弥生土器 甕	2区 SD02 1号	口径 15.7	口縁部外側に3条の凹線文を這らす。草田1周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰黄褐色	反転復元。
114-3	弥生土器 甕	2区 SD02	口径 14.0	口縁部外側に凹線状の浅い条溝を数条有する。草田1周。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
114-4	弥生土器 甕	2区 SD02 1号	口径 29.4	口縁部外側に3条程度の浅い平行施縫を施す。草田2周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①3mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③淡黄褐色	反転復元。
114-5	弥生土器 甕	2区 SD02 1号	底径 6.6	平底。弥生時代中期後半。	瓶底下半 外面：ハケ淡ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ハケ 内面：オサエ	①2mm以下の砂粒をやや多く含む ②良 ③灰黄褐色	反転復元。
114-6	弥生土器 甕	2区 SD02 1号	直径 5.9	平底。松本N-7?	脚部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ? 底部 外面：ミガキ 内面：オサエ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
114-7	弥生土器 瓶?	2区 SD02 3号	口径 13.0	器身は内側気味に立ち上がり開口する。口縁部は施釉が肥厚する。弥生時代後期。	口縁部・体部 外面：ナデ 内面：ケズリ	①3mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。 外面に斑が付着する。
114-8	須恵器 蓋	2区 SD02 1号	口径 12.5	口縁部を下方に若干引き出す。高広N B周?	口縁部・甲部 内外面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良好 ③灰色	反転復元。
115-1	弥生土器 甕	2区 SD04	口径 16.2	口縁部は上下に拡張し、端面に3条の凹線文を這らす。松本N-2周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 内外面：ハケ	①4mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
115-2	弥生土器 注口器	2区 SD04	径 2.9 孔径 1.2	端部は平底面をなす。表面に赤色傷跡を施す。弥生時代後期。	注口部 外面：ミガキ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③赤褐色 地：淡黄褐色	
115-3	土師器 甕	2区 SD04	底径 3.8	底部で絞られた器壁は体部に向かい若干内側して立ち上がるようである。12世纪?	体部 外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切りナデ剥し 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず ②良 ③淡黄褐色	
115-4	陶磁器 瓶	2区 SD04 中層	口径 11.8	内面と口縁部外側に施釉を施す。17世纪。	口縁部・体部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず ②良 ③緑・地：オリーブ灰色	反転復元。 擦拂。
117-1	土師器 甕?	2区 SD05 1号	底径 6.3	平底。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を少し含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
117-2	土師器 甕?	2区 SD05 4号	底径 4.6	底部でやや絞られた器壁は体部に向かいやや内側して立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒をふくむ ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。

標識番号	器種	出土地点	法尺(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調(地)	備考
117-3	土師器皿	2区 SD05 1周	口径 9.1 底径 4.9 高さ 1.9	基盤は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	口縁部・全体 内外面：凹輪ナデ 底部 外側：凹輪糸切り 内面：凹輪ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
117-4	土師器皿	2区 SD05 2周	底径 3.5	底部で若干絞られた基盤は全体に向かい内湾気味に立ち上がる。	全体 内外面：ナデ 底部 外側：凹輪糸切り 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②普通 ③浅黄褐色	反転復元。
117-5	土師器皿	2区 SD05 3周	底径 3.4	底部でやや絞られた基盤は全体に向かい内湾気味に立ち上がる。	全体 内外面：凹輪ナデ 底部 外側：凹輪糸切り 内面：凹輪ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
119-1	土師器皿	2区 SD06 3周	口径 20.4	口縁部はやや外傾して開口する。複合部の後部は延水平方向に突出する。草田6~7周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外側：ハケ? 内面：ケズリ	①3mm以下の砂粒を少し含む ②普通 ③浅黄褐色	
119-2	非生土器皿	2区 SD06 7周付	口径 21.4	口縁部外側に数条の平行沈線を這らす。草田2周。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
119-3	非生土器皿	2区 SD06 3周	口径 18.1	口縁部は外反して開口する。複合部の後部は延水平方向に突出する。肩部外側に複数の波浪文を施す。草田5周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 底部 外側：ナデ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③褐色	反転復元。
119-4	非生土器皿	2区 SD06 2周	底径 7.8	平底。基盤は底部から脚部に向かい内湾気味に立ち上がる。非生時代中周後半。	脚部下半 外側：ミガキ 内面：ケズリ? 底部 内面：ナデ?	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
119-5	非生土器皿?	2区 SD06 2周	底径 9.0	平底。基盤は底部から脚部に向かい直線的に立ち上がる。非生時代中周後半。	脚部下半 内外面：ミガキ 底部 内面：ナデ	①2mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
119-6	土師器皿	2区 SD06	底径 4.9	基盤は底部から全体に向かい内湾気味に立ち上がる。	全体 内外面：凹輪ナデ 底部 外側：凹輪糸切り 内面：凹輪ナデ	①0.5mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③褐色	反転復元。
120-1	非生土器皿口縁	2区 SD07 2周	口径 30.0	口縁部は下方に拡張する。内面に斜格子文と点文、裏面に斜格子文が施されている。松本Ⅱ周。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
120-2	非生土器皿	2区 SD07	口径 21.7	口縁部は単純に外反し、脚部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ周。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黃褐色	反転復元。
120-3	非生土器皿	2区 SD07 2周	口径 19.9	口縁部は単純に外反し、口縁部を上方へ舟引き出す。脚部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外側：ハケ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
120-4	非生土器皿	2区 SD07 7周付	口径 23.8	口縁部は単純に外反し、基盤は肥厚する。松本Ⅳ周。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黃褐色	反転復元。
120-5	非生土器皿	2区 SD07 3周	口径 20.8	口縁部外側に3条の波浪文を這らす。東部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅴ周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外側：ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黃褐色	反転復元。

件番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
120-6	弥生土器 甕	2区 SD07 3層	口径 21.9	口縁部は上下に膨張し、端面に2条の凹線文を施す。腹部は「く」字状に屈曲し外面に突起文を貼り付ける。肩部は大往復の外側に連續刻文を施す。松木N-1周。	口縁部 内外面:ナデ 肩部上半 外腹:ハケ 内腹:オサエ後ナデ	①0.5mm以下の砂粒をふくむ ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
120-7	土師器 甕	2区 SD07	口径 14.4	口縁部はやや外傾して開口する。口縁端部に平面面を有する。複合部の腰部はほぼ水平方向に突出する。草田6~7周。	口縁部 内外面:ナデ 肩部上半 外腹:ナデ 内腹:ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
120-8	土師器 甕	2区 SD07 底近 1層	口径 11.7 底径 6.5 高さ 3.2	底部でやや絞られた腹壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。内外面に赤色塗彩を施す。12世紀?	口縁部・体部 内外面:回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
121-1	弥生土器 甕	2区 6Gr	口径 22.4	口縁部は若干肥厚し、端面に1条の凹線文を施す。腹部は「く」字状に屈曲する。松木N-1周。	口縁部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
121-2	弥生土器 甕	2区 SGr 地山直上層	口径 24.3	口縁部は上下に僅かに拡張し、端面に2条の凹線文を施す。腹部は「く」字状に屈曲する。腹部外側に突起文を貼り付ける。松木IV-3周。	口縁部 内外面:ナデ 肩部上半 外腹:ハケ 内腹:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
121-3	弥生土器 甕	2区 6Gr	口径 21.7	口縁部外側に3条の凹線文を施す。腹部は「く」字状に屈曲する。松木N-2周。	口縁部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
121-4	弥生土器 甕	2区 4Gr 地山直上層	口径 17.2	口縁部外側に3条の浅い凹線文を施す。草田1周。	口縁部 内外面:ナデ 肩部上半 内腹:ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
121-5	弥生土器 甕	2区 9-10ラ ナデ ハン	口径 13.7	口縁部外側に5条の平行沈縫を施す。草田2周。	口縁部 内外面:ナデ 肩部上半 内腹:ケズリ	①0.5mm以下の砂粒を少し含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
121-6	土師器 甕	2区 13-15ラ ナデ ハン	口径 22.5	口縁部は外傾して開口し、端部に平坦面を有する。草田6~7周。	口縁部 内外面:ナデ 肩部上半 外腹:ナデ 内腹:ケズリ	①砂粒をあまり含まない ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
121-7	弥生土器 甕?	2区 13-15 ライ ナデ ハン	底径 7.5	平底。弥生時代中期後半。	脚部下半 外腹:ミガキ 内腹:ナデ 底部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
121-8	弥生土器 部分	2区 地山直上層	脚部径 13.7	脚部外側に4条の平行沈縫を施す。草田2周。	脚部 外腹:ミガキ 内腹:ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
121-9	弥生土器 高杯	2区	脚部径 12.8	脚部は「ハ」字状に開き縦縫に至る。弥生時代後期後葉。	脚部 外腹:ハケ後ミガキ 内腹:ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
122-1	土師器 环	2区 9Gr ナデ ハン	底径 4.7	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面:回転ナデ 底部 外腹:回転糸切り 内腹:回転ナデ	①砂粒をほとんど含まない ②良 ③にぶい褐色	
122-2	土師器 环	2区 9Gr 地山直上層	底径 5.4	底部でやや絞られた腹壁は体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面:回転ナデ 底部 外腹:回転糸切り 内腹:回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
122-3	土師器 环	2区 9Gr 地山直上層	底径 6.0	腹壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面:ナデ 底部 外腹:回転糸切り 内腹:回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	

件番号	器種	出土地点	法観(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①触土 ②焼成 ③色調(地)	備考
122-4	土師器 环	2区 9Gr 地山直上層	底径 5.8	器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がる。	全体 外側:ナデ 内側:回転ナデ 底部 外側:回転糸切り後ナデ 内側:回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③黄褐色	反転復元。
122-5	土師器 皿	2区	口径 12.9 底径 5.2 高さ 3.3	器壁は底部から口縁部にかけて外反気味に立ち上がる。	口縁部・全体 内側:回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい褐色	反転復元。
122-6	土師器 皿	2区 9-10分 9'アラシ	口径 7.9 底径 3.9 高さ 2.3	底部で僅かに絞られた器壁は口縁部に向かい内反気味に立ち上がる。12世紀?	口縁部・全体 外側:ナデ 内側:回転ナデ 底部 外側:回転糸切り 内側:回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③黄褐色	反転復元。
122-7	土師器 皿	2区 9-10分 9'アラシ	口径 4.0 底径 2.0 高さ 2.0	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12世紀。	口縁部・全体 内側:回転ナデ 底部 外側:回転糸切り後ナデ 内側:回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③黄褐色	反転復元。
122-8	土師器 皿	2区 11Gr 地山直上層	口径 6.6 底径 3.5 高さ 2.0	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12世紀。	口縁部・全体 内側:回転ナデ 底部 外側:回転糸切り 内側:回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③黄褐色	反転復元。
122-9	土師器 皿	2区 9-10分 9'アラシ	口径 6.9 底径 3.4 高さ 2.3	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12世紀?	口縁部・全体 内側:ナデ 底部 外側:回転糸切り後ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③黄褐色	反転復元。
122-10	土師器 皿	2区 9Gr 地山直上層	口径 5.7 底径 3.7 高さ 1.2	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀?	口縁部・全体 内側:ナデ 底部 外側:回転糸切り 内側:ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
122-11	土師器 皿	2区 2-3Gr 地山直上層	口径 7.4 底径 4.1 高さ 1.8	底部でやや絞られた器壁は全体に向かい外反気味に立ち上がった後に口縁部で若干内湾して開口する。12世紀半?	口縁部・全体 内側:回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
122-12	土師器 皿	2区 4Gr 地山直上層	口径 7.3 底径 3.9 高さ 1.7	底部でやや絞られた器壁は全体に向かい直線的に立ち上がるが底部で外反して開口する。12世紀半?	口縁部 内側:ナデ 開口上半 外側:ナデ 内側:ケズリ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③赤褐色	反転復元。
123-1	須恵器 表	2区 9-10分 9'アラシ	高台径 8.6	底面外縁に「ハ」字状に聞く低い高台を貼り付ける。器壁は底部から前部に向かい内湾して立ち上がる。8世紀。	脚部下平 内側:回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
123-2	陶器器 皿	2区 11Gr 地山直上層	口径 12.9 底径 4.2 高さ 3.7	器壁は底部から全体に向かい内湾気味に立ち上がるが口縁部で外反して開口する。底面外縁に高台を削り出す。内側と口縁部外側に施脂する。	口縁部 内側:施脂 全体 内側:回転ナデ 内側:施脂 底部 外側:ケズリ 内側:施脂	①砂粒をあまり含まず密 ②良好 ③地:灰褐色 地:にぶい褐色	反転復元。
123-3	陶器器 皿	2区 9Gr 地山直上層	高台径 4.7	器壁は底部から全体に向かい内湾気味に立ち上がる。底部に低い高台を削り出す。全体外側と底面内側中央に施脂する。	全体 内側:施脂 底部 内側:ケズリ 内側:一部施脂	①砂粒をあまり含まず密 ②良好 ③地:灰褐色 地:灰褐色	唐津系。
123-4	陶器器 皿	2区	高台径 4.1	器壁は底部から全体に向かい内湾気味に立ち上がる。底部に低い高台を削り出す。全体外側の一部と内側に施脂する。17世紀。	全体 内側:ナデ後施脂 内側:施脂 底部 外側:ケズリ裏ナデ 内側:施脂	①砂粒をあまり含まず密 ②良好 ③地:オリーブ灰色 地:褐灰色	唐津燒。

博認番号	器種	出土地点	口径(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①出土 ②焼成 ③色調(地)	備考
123-5	陶縁器 甕	2区 9-10号 97'12月	口径 7.8	口縁部は側面に外反し、底部に平坦面を持つ。口縁部と底部内面には施がつかない。口縁部外側に双方文様、底部外側に草文様が施されている。	口縁部・底部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず緻密 ②良好 ③地：明瞭灰色 地：灰白色	反転復元。 伊万里焼。
123-6	陶縁器 甕	2区 40号 尾山直上層	口径 32.0	口縁部は單純に外反し、底部は肥厚する。16世紀。	口縁部・底部上半 内外面：施釉	①2mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③地：灰黑色 地：灰黑色	反転復元。 備前焼。
123-7	陶縁器 焰壺	2区	口径 29.3	口縁部はほぼ直立し、底部は丸くおさまる。口縁部周囲から外側にかけて穿孔が施されている。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外側：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③地：灰黑色 地：灰黑色	反転復元。 外面全面に煙が付着している。
123-8	陶縁器 焰壺	2区	口径 29.0	口縁部はほぼ直立し、底部は丸くおさまる。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外側：ケズリ	①0.5mm以下の砂粒を少し含む ②良好 ③地：灰黑色 地：灰黑色	反転復元。 外面全面に煙が付着している。
123-9	瓦質土器 不明 (口縁部)	2区 9-10号 97'12月	口径 34.0	口縁部は単純に外反し縁面に平坦面を持つ。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 底部 外側：ナデ 内面：ハケ	①砂粒をあまり含まず緻密 ②良好 ③地：黄灰色	反転復元。
127-1	弄生土器 甕	3区 SK01 1層	口径 24.0 底径 5.7 高さ 33.3	口縁部は単純に外反し縁部は「く」字状に屈曲する。底部膨大柱付近の外側に两点文を施す。松本直二層。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 底部 外側：ハケ 底部下半 内外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外側：ナデ?	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良好 ③地：灰黑色	ほぼ完形に復元できた。
127-2	弄生土器 甕	3区 SK01 1層	口径 22.5 (推定) 底径 5.5 高さ 29.0 (推定)	口縁部は単純に外反し縁部は「く」字状に屈曲する。松本直二層。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 底部下半 外側：ハケ 内面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外側：ナデ?	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良好 ③地：灰黑色	反転復元。
127-3	弄生土器 甕	3区 SK01 1層	口径 17.0	口縁部は単純に外反し縁部は若干肥厚する。縁部は「く」字状に屈曲する。松本直二層。	口縁部 内外面：ナデ 底部上半 底部 外側：ハケ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良好 ③地：灰黑色	反転復元。
127-4	弄生土器 甕	3区 SK01 1層	口径 22.9	口縁部は肥厚し平坦面を持つ。縁面に斜文子文、底部外側に5条の回文形と两点文を施す。松本直二層。	口縁部 内外面：ナデ 底部 外側：ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良好 ③地：灰黑色	反転復元。
127-5	弄生土器 甕?	3区 SK01 1層	底径 7.4	平底。基底は底部から縁部に向かって外反気味に立ち上がる。弄生時代中葉後半。	底部下半 外側：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外側：ハケ 内面：オサエ後ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良好 ③地：灰黑色	
130-1	土師器 甕	3区 SK05 1層	口径 7.4 底径 4.6 高さ 1.5	器壁は底盤から口縁部にかけてやや内側にして立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：反転ナデ 底部 外側：回転糸切り後ナデ 内面：反転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②良好 ③地：淡青褐色	反転復元。
130-2	陶縁器 焰壺	3区 SK05 1層	口径 31.4	口縁部はほぼ直立し、底部は丸くおさまる。口縁部周囲から外側にかけて穿孔が施されている。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外側：ケズリ 内面：ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②良好 ③地：灰黑色	反転復元。 外側全面に煙が付着している。

辨認番号	器種	出土地点	法徳(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①鉄土 ②焼成 ③色調(地)	備考
130-3	陶器部 加林	3区 SK05 1層	口径 32.4 高台径 12.1 器高 13.9	口縁部は外に折り玉縁状になる。内面に15枚・半段の指口を付ける。底面に低い高台を削り出す。近世。	口縁部・体部上半 内外面：回転ナデ 体部下半：底盤 外面：ケズリ 内面：施釉	①10mm以下の砂粒を含む ②良好 ③灰赤色	反転復元。 肥前系。
130-4	陶器部 輪	3区 SK05 1層	高台径 4.6	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。叠加以外に施釉する。体部外側に網目文を塗め付けている。17~18世紀。	体部・底部 内外面：施釉	①織密 ②良好 ③輪：明オリーブ灰色 地：灰白色	反転復元。 肥前系。
130-5	陶器部 皿	3区 SK05	口径 11.0 高台径 4.4 器高 3.2	器壁は底部から体部にかけて大きく開いて立ち上がる。底面に高台を削り出す。内面には染め付けが認められ、全側に施釉する。18世紀。	口縁部・体部・底部 内外面：施釉	①織密 ②良好 ③輪・地：灰白色	反転復元。 肥前系。
130-6	陶器部 輪	3区 SK05 1層	口径 11.0 高台径 4.9 器高 8.0	器壁はほぼ直立して開口する。外側には斜面を含む風景画等の染め付けが認められる。斜面以外に施釉し、貫入が認められる。近世。	口縁部・体部・底部 内外面：施釉	①織密 ②良好 ③輪・地：灰色	反転復元。 肥前系。
130-7	陶器部 輪	3区 SK05 1層	口径 10.8 高台径 4.3 器高 6.3	器壁は底部から口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる。底面に高台を削り出す。18世紀後半。	口縁部・体部・底部 内外面：施釉	①織密 ②良好 ③輪：明紺灰色 地：灰白色	反転復元。 伊万里系。
130-8	陶器部 輪	3区 SK05 1層	口径 10.1	器壁は底部から口縁部にかけてやや内湾して立ち上がる。外側に文様を施す。底部に施釉し、貫入が認められる。	口縁部・体部 内外面：施釉	①織密 ②良好 ③輪・地：灰白色	反転復元。
130-9	陶器部 不明 (底部)	3区 SK05 1層	高台径 5.6	器壁は底部から体部に向かい直面して立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。体部外側に施釉し、貫入が認められる。	体部 外面：施釉 内面：回転ナデ 底部 外面：ケズリ 内面：回転ナデ	①織密 ②良好 ③輪・地：灰白色	反転復元。
130-10	陶器部 輪	3区 SK05	高台径 4.8	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。底面に低い高台を削り出す。底部外側以外に施釉する。	体部 外面：施釉 内面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①密 ②良好 ③輪：灰オリーブ色 地：にぶい黄褐色	反転復元。
130-11	陶器部 皿	3区 SK05 1層	高台径 4.4	器壁は底部から口縁部にかけて内湾して立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。底部外側以外に施釉するが、見込み部分は蛇の目状に施釉を剥がせる。	口縁部・体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①織密 ②良好 ③輪：灰オリーブ色 灰白色	反転復元。
134-1	陶器部 輪	3区 SK08	口径 9.8 高台径 4.8 器高 7.0	口縁部は内に折り玉縁状になる。器壁は底部から口縁部にかけて直面方向に立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。外側に文様を施め付けた。体部外側から口縁部内面にかけて施釉し、貫入が認められる。	口縁部 外面：施釉 体部 外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：回転ナデ	①密 ②良好 ③輪：オリーブ灰色 地：灰色	反転復元。
136-1	青生土器 甕	3区 SK17 1層	口径 18.6	口縁部は單純に外反し縁部は若干肥厚する。縁部は「く」字状に用曲する。松本直之用。	口縁部 内外面：ナデ 体部上半 内外面：ハケ	①2mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄褐色	反転復元。
138-1	青生土器 甕	3区 PK03 1層	口径 19.9	口縁部は単純に外反し縁部を上方へ傾かに引き出す。松本直之用。	口縁部 内外面：ナデ 体部上半 内外面：ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
138-2	陶器部 輪	3区 PK01 1層	口径 20.1 高台径 7.1 器高 7.9	口縁部は外に折り玉縁状になる。周壁は底部から口縁部にかけて内湾して立ち上がる。底面にやや高い高台を削り出す。体部外側と内面に施釉する。	口縁部・体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①6mm以下の砂粒を含む ②良好 ③輪：灰黄褐色 地：赤色	反転復元。

博物館番号	器種	出土地点	直径(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
138-3	陶器器 蓋	3区 P0511 1層	直径 17.5	平底。器壁は底盤から体部にかけて垂直的に立ち上がるが底部付近で内凹する。底部外周以外に全面に施釉する。	器部 内外面：施釉 底盤 外側：ナデ？ 内側：施釉	①密 ②良好 ③胎：暗赤褐色	反転復元。 肥前系。
138-4	平底	3区 P0511 1層	厚さ 1.7	-	表面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	
140-1	弥生土器 蓋	3区 SD01 6層	口径 19.9	口縁部は単純に外反し縁部に平坦面を有する。縁部は「く」字状に屈曲する。胎本直腹。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
140-2	弥生土器 蓋	3区 SD01 最下層	口径 19.9	口縁部は単純に外反し縁部を上方にやや引き出す。縁部に浅い凹窓を1条通らす。縁部は「く」字状に屈曲する。胎本直-2層。	口縁部 内外面：ナデ 縁部上半 内外面：ハケ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
140-3	弥生土器 蓋	3区 SD01 1層	口径 18.0	口縁部は単純に外反する。縁部は肥厚し平坦面を有する。縁部は「く」字状に屈曲する。胎本N-1層。	口縁部 内外面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
140-4	弥生土器 蓋	3区 SD01 1層	口径 16.0	口縁部は単純に外反し縁部に2条の浅い凹窓を通らす。胎本N-1層。	口縁部 内外面：ナデ 縁部上半 外側：ナデ？ 内側：ハケ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
140-5	弥生土器 蓋	3区 SD01 6層	直径 4.7	平底。器壁は底盤から体部に向かい僅かに外反して立ち上がる。弥生時代中期後半。	器部下半 外側：ミガキ 内側：ハケ 底盤 外側：ナデ 内側：オサエ	①1mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
140-6	弥生土器 蓋	3区 SD01 竹下	口径 11.8	口縁部は短く縁部は肥厚し平坦面を有する。草田1層。	口縁部 内外面：ナデ 縁部 外側：ハケ 内側：ケズリ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
143-1	陶器器 蓋	3区 SD02 1層	高台径 8.6	器壁は底盤から体部に向かい僅かに内凹して立ち上がる。底面に高台を削り出す。底盤外周以外に施釉する。18世紀。	体部 内外面：施釉 底盤 外側：ケズリ 内側：施釉	①緻密 ②良好 ③胎：灰黄色 地：にぶい褐色	反転復元。 肥前系。
143-2	陶器器 蓋	3区 SD02	口径 9.7 直径 3.9 高さ 3.0	器壁は中部から口縁部にかけて若干内凹する。甲部に縦籠目押す。外側に墨書きと焼。内面に意文と焼が描かれている。全周に施釉する。	甲部・体部・口縁部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③胎：灰白色	ほぼ完形。 肥前系。
143-3	陶器器 蓋	3区 SD02 1層	高台径 6.5	器壁は底盤から体部に向かいや内凹して立ち上がる。底面に高台を削り出す。内外側に染め付け有り。焼付以外に施釉する。18世紀以降。	体部・底盤 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③胎：明緑灰色 地：灰白色	反転復元。 肥前系。
143-4	陶器器 蓋	3区 SD02 1層	高台径 5.4	器壁は底盤から体部に向かいや内凹して立ち上がる。底面に高台を削り出す。内外側に染め付け有り。焼付以外に施釉する。18世紀以降。	体部・底盤 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③胎：明緑灰色 地：灰白色	反転復元。 肥前系。
143-5	陶器器 蓋	3区 SD02 1層	不 明	器壁は底盤から体部に向かい内凹するが、口縁部にかけては底盤に立ち上がる。器壁に低い高台を削り出す。内外面に染め付け有り。焼付以外に施釉する。18世紀以降。	体部・底盤 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③胎：明緑灰色 地：灰白色	肥前系。
143-6	陶器器 蓋	3区 SD02	不 明	器壁は底盤から体部に向かい内凹するが、口縁部にかけては底盤に立ち上がる。器壁に低い高台を削り出す。内外面に染め付け有り。焼付以外に施釉する。18世紀。	口縁部・体部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③胎：明緑灰色 地：灰白色	肥前系。

標本番号	器種	出土地名	法寸(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①筋土 ②焼成 ③色刷(地)	備考
143-7	陶器器 皿	3区 SD02 1層	口径 9.1 高台径 3.5 器高 7.5	器壁は底盤から全体に向かい内側するが、口縁部にかけては逆張曲に立ち上がる。底盤に低い台を削り出す。底盤外周以外に施釉する。	口縁部・底盤 内外面：施釉 底盤 外周：ケズリ 内面：施釉	① 1mm以下の砂粒を含むが ②良好 ③地：オリーブ黒色 地：灰褐色	反転復元。
143-8	陶器器 皿	3区 SD02 1層	高台径 4.7	器壁は底部から全体にかけて内湾気味に立ち上がる。底盤に低い台を削り出す。底盤外周以外に施釉する。	部 内外面：施釉 底盤 外周：ケズリ 内面：施釉	① 1mm以下の砂粒を含むが ②良好 ③地：オリーブ黒色 地：灰褐色	反転復元。
143-9	陶器器 皿	3区 SD02 1層	不 明	口縁部は平底に外反する。器壁は肥厚し平底面を有する。全面に施釉する。	口縁部・底盤 内外面：施釉	①地 ②良好 ③地：墨褐色 地：灰褐色	肥前系。
143-10	陶器器 皿	3区 SD02 1層	不 明	底盤に低い台を削り出す。全面に施釉する。	底盤 内外面：施釉	①密 ②良好 ③地：暗赤褐色 地：灰褐色	
144-1	弥生土器 甕	3区 SD03 1層	口径 19.8	口縁部は平底に外反する。口縁端部は肥厚し端面に2条の凹線文を施す。腹部は「く」字状に施釉する。松本N-1層。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③淡褐色	反転復元。
144-2	弥生土器 甕	3区 SD03 1層	口径 19.9	口縁端部を上下に若干引き出し、端面に1条の凹線文を施す。松本N-1層。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
144-3	弥生土器 甕	3区 SD03 3層	口径 18.9	口縁端部を上下に若干試差し、端面に2条の凹線文を施した後、連続刻印文を施す。松本N-1層。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
144-4	弥生土器 甕?	3区 SD03 3層	口径 5.5	器壁はやや上げ底状の底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 内面：ナデ 底盤 外周：ナデ 内面：オサエ	① 1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
144-5	弥生土器 甕	3区 SD03 ナガリ付	底径 5.9	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外周：ミガキ 内面：ナデ 底盤 外周：ナデ 内面：オサエ	① 1mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰褐色	反転復元。
144-6	弥生土器 甕口安	3区 SD04 1層	底径 6.2	器壁は上げ底の底部から胴部に向かい大きく外傾して立ち上がる。松本N-2層。	胴部下半 外周：ミガキ? 内面：ナデ 底盤 外周：ナデ 内面：オサエ	① 2mm以下の砂粒を多く含む ②やや良 ③灰褐色	反転復元。
145-1	弥生土器 底口安	3区 SD04 2層	口径 23.4	口縁端部は上方に若干試差し端面に2条の凹線文を施す。また、内面にも5程度の凹線文を施す。松本N-2層。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰褐色	反転復元。
145-2	弥生土器 底口安	3区 SD04 3層	口径 11.7	口縁部はや外傾して開口する。器壁は左右に拡張し端面に3条の長い凹線文を施す。松本N-2層。	口縁部 内外面：ナデ	①それに2.5mm大的の巣を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
145-3	弥生土器 甕?	3区 SD04 3層	口径 17.7	口縁部はや外傾して開口し端部に平底面を有する。複合窓の窓は上方内方に突出するが底くなれ。準田N-2層。	口縁部・頭部 内外面：ナデ	① 0.5mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③灰褐色	反転復元。
145-4	弥生土器 甕	3区 SD04 2層	口径 21.6	口縁部は平底に外反する。器壁を上方にやや引き出し端面に平底面を有する。腹部は「く」字状に施釉する。松本N-2層。	口縁部 内外面：ナデ 胴部下半 内面：ハケ	① 0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
145-5	弥生土器 甕	3区 SD04 1層	口径 29.6	口縁端部を上方にやや引き出し端面に逆線刻印文を施す。腹部は「く」字状に施釉し外周に指項压痕文を施し付ける。松本N-1層。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ナデ	① 1mm以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③灰褐色	反転復元。

標本番号	器種	出土地点	底量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①治土 ②焼成 ③色調(地)	備考
145-6	弥生土器 甕	3区 SD04 3層	口径 27.4	口縁部は上方に拡張し端面に連続刻目文を施す。腹壁は「く」字状に屈曲し外側に捲頭彎文帯を貼り付ける。松本N-4周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
145-7	弥生土器 甕	3区 SD04 3層	口径 21.1	口縁部は上下に拡張し端面に3条の凹痕文を施す。腹壁は「く」字状に屈曲する。松本N-2周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
145-8	弥生土器 甕	3区 SD04 南2層	口径 20.6	口縁部を横に引き出し端面に手捏ねを有する。複合部の後は水平方向に斜く突出する。早田6周?	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
145-9	弥生土器 甕	3区 SD04 1層	底径 18.4	平底。器壁は底部から胴部にかけて直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 内外面：ハケ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
145-10	弥生土器 甕	3区 SD04 1層	底径 4.9	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外表面：ミガキ 内面：ナデ 底部 外表面：ナデ 内面：オサエ	①まれに5mmの大粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
145-11	弥生土器 高环	3区 SD04 1層	口径 12.6	口縁部は下方に拡張し端面に2条の凹痕文を施す。外側にも5条の凹痕文を施し、2後の刻目文も認められる。松本N-2周。	口縁部 内外面：ナデ 底部 内外面：ミガキ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
145-12	弥生土器 高环	3区 SD04	不明	口縁部の状況はみられないが端面に1条の凹痕文を施す。また、外側に3条の凹痕文を施された後に連続刻目文を施す。松本N-4周。	口縁部 内外面：ナデ 底部 内外面：ハケ	①まれに5mmの大粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	
145-13	弥生土器 器台	3区 SD04 南	不明	口縁部は上下に拡張し端面に4条の凹痕文と3段の連続刻目文を施す。弥生時代後期前半?	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	
145-14	弥生土器 高环	3区 SD04 1層	脚幅径 11.0	器壁は「八」字状に広がり器底は丸くおさまる。外側に複数枚の凹痕文を施す。また、2箇所に僅5mm程度の穿孔が認められる。松本N-1周。	脚部 内外面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
148-1	弥生土器 広口甕	3区 SD06 1層	不明	口縁部は下方に拡張し、端面と内面に3条1組の凸彎文を斜めに連続して施す。松本N-1周。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	
148-2	弥生土器 甕	3区 SD06 1層	不明	胴部上半外側に2段の波彎文、1段の沈彎文、連続する斜め方向の沈彎文が施される。松本N-1周。	胴部上半 外面：ハケ 内面：オサエ・ハケ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	
148-3	弥生土器 甕	3区 SD06 1層	不明	胴部上半外側に2段の沈彎文と連続する斜め方向の沈彎文を施した後に、3箇所に凸彎文が貼り付ける。松本N-1。	胴部上半 内外面：ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	
148-4	弥生土器 甕	3区 SD06 1層	口径 20.8	口縁部は肥厚し平粗底を有する。端部は「く」字状に屈曲する。松本N-2周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
148-5	弥生土器 甕	3区 SD06 1層	底径 5.8	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外表面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 内外面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
148-6	弥生土器 高环	3区 SD06 1層	不明	器壁は内側して立ち上がり口縁部で外反して開口する。松本N周。	口縁部・耳部 内外面：ミガキ	①まれに5mmの大粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。

標図番号	器種	出土地點	法尺(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①鉄土 ②焼成 ③色調(地)	備考
148 - 7	弥生土器 脚付鉢	3区 SD06 1層	脚邊径 20.1	脚邊部は肥し平底面を有する。へら状 全体による輪郭にによる縦文である。二等辺 三等辺の透孔を有する。松本N-2周。	脚部 内外面:ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
150 - 1	弥生土器 広口壺	3区 SD07 1層	口径 26.4	口縁端部は下方に試刷し、底面に斜格子 文、内面に斜格子文と斜交文、端面と内 縁の間に斜交文を施す。松本N-2周。	口縁部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元。
150 - 2	弥生土器 広口壺	3区 SD07 1層	不明	口縁端部は上下に試刷し、底面に斜格子 文、内面に斜格子文と斜交文、端面と内 縁の間に斜交文を施す。松本N-2周。	口縁部 内外面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	
150 - 3	弥生土器 壺	3区 SD07 2層	口径 24.9	口縁端部は平面上に外反し、端部を上方に若干 引き出す。頭部は「く」字状に屈曲する。 松本N-2周。	口縁部 内外面:ナデ 頭部上半 外表面:ハケ	①0.5mm以下の砂粒を少し含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
150 - 4	弥生土器 壺	3区 SD07 1層	不明	口縁端部は平面上に外反し端部を上方に若干 引き出す。頭部外面に斜交文を貼り付け る。松本N-2周。	口縁部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を確かに 含む ②普通 ③浅黃褐色	
150 - 5	弥生土器 壺	3区 SD07 2層	口径 15.9	口縁端部は上下にやや試刷し端面に2条 の斜交文を施す。底面は「く」字状に 屈曲する。松本N-2周。	口縁部 内外面:ナデ 頭部上半 外表面:ハケ 内面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元。
150 - 6	弥生土器 壺	3区 SD07	底径 7.2	平底。頭部は底部から体部に向かい腰か に外反して立ち上がる。弥生時代中期後 半。	頭部下半 外表面:ミガキ 内面:ケズリ 底部 外表面:ナデ 内面:オサエ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぼい黄褐色	反転復元。
151 - 1	弥生土器 壺	3区 17-19丁 47番地	口径 15.5	口縁部は平面上に外反し端部を上方に僅かに 引き出す。頭部最大径付近の外面に押 出文を施す。松本N-1周。	口縁部 内外面:ナデ 頭部 内面:ハケ	①2mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黃褐色	反転復元。
151 - 2	弥生土器 壺	3区 17G 地山直上附	口径 16.4	口縁端部は平面上に外反し端部を上方にやや 引き出す。頭部の頭曲はゆるい。松本N-2 周。	口縁部 内外面:ナデ 頭部 外表面:ハケ後ミガキ 内面:ハケ後ナデ、オサエ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元。
151 - 3	弥生土器 壺	3区 18-19丁 47番地	口径 21.0	口縁端部を上方にやや引き出し端面に1 条の押出文を施す。頭部はゆるく屈曲 する。松本N-2周。	口縁部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黃褐色	反転復元。
151 - 4	弥生土器 壺	3区 17G 地山直上附	底径 4.1	平底。頭部は底部から体部に向かい腰か に外反して立ち上がるようである。亦モ 時の中期後半。	頭部下半・底部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黃褐色	反転復元。
151 - 5	陶器船? 舟? (口縁部)	3区 12Gr 焼成土	口径 19.7	頭部はやや肥厚し端面に平坦面を有す る。	口縁部 内外面:回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③褐色	反転復元。
151 - 6	陶器船 壺	3区 12Gr 焼成土	口径 18.8 底径 3.5 脚高 8.8	やや良い腹を有する。底部外縁以外に施 す。	口縁部・頭部・胴部 内外面:脚部 底部 外表面:回転糸切り 内面:脚部	①砂粒をあまり含まない ②良好 ③物:暗赤褐色 地:橙色	完形。
159 - 1	弥生土器 広口壺	4区 SK05 2層	口径 24.0	口縁端部は下方に試刷し端部に平坦面を 有する。松本N-1周。	口縁部 外表面:ハケ後ナデ 内面:ハケ 頭部 内外面:ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元。
159 - 2	弥生土器 壺	4区 SK05 1層	口径 21.9	口縁端部は下方に試刷し端部に3条の凹 縫文を施す。また、頭部最大径付近の 外縁に凸縫文を施す。松本N-2周。	口縁部 内外面:ナデ 頭部 外表面:ハケ(上半) ミガキ(下半) 内面:ケズリ後ミガキ	①1mm以下の砂粒をやや多く 含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元。

標査番号	器種	出土地点	法面(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調(地)	備考
159-3	弥生土器 甕	4区 SK05 1層	口径 17.5	口縁端部を上下に若干引き出し端面に2条の凹線文を施す。底部は「く」字状に弧曲する。松本N-1層。	口縁部 内外面:ナデ 底部上半 外側:ミガキ 内面:ハケ?	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
159-4	弥生土器 甕	4区 SK05 1層	口径 19.7	口縁端部は上下に拵張し端面に2条の凹線文を施す。底部は「く」字状に弧曲する。松本N-1層。	口縁部 内外面:ナデ 底部上半 外側:ナデ? 内面:オサエ後ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
159-5	弥生土器 甕	4区 SK05 1層	口径 32.4	口縁端部は上下に拵張し端面に3条の浅い凹線文を施す。底部外面に突脊文を貼り付ける。松本N-2層。	口縁部 内外面:ナデ 底部上半 外側:ナデ?	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。 159-6と同一個体の可能性有り。
159-6	弥生土器 甕	4区 SK05 1層	口径 24.5	口縁部は上下に拵張し端面に3条の浅い凹線文を施す。底部外面に突脊文を貼り付ける。松本N-2層。	口縁部 内外面:ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。 159-5と同一個体の可能性有り。
159-7	弥生土器 甕	4区 SK05 1層	底径 4.2	平底。器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	脚部下半 外側:ミガキ 内面:ナデ? 底部 外側:ナデ 内面:オサエ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
159-8	弥生土器 甕	4区 SK05 1層	底径 5.3	平底。器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がるようである。弥生時代中期後半。	脚部下半 内外面:ナデ 底部 外側:ナデ 内面:オサエ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
163-1	土師器 甕	4区 SK10 上層	口径 9.5 底径 6.3 高さ 2.2	器壁は底部から口縁部にかけてやや外反して立ち上がる。8~9世紀。	口縁部・全体 内外面:回転ナデ 底部 外側:回転糸切り 内面:回転ナデ	①2.5mm以下の砂粒を少し含む ②やや不良 ③灰褐色	反転復元。
165-1	弥生土器 甕	4区 SK11 1層	底径 4.8	平底。器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がるようである。弥生時代中期。	脚部下半 内外面:ナデ 底部 外側:ナデ 内面:オサエ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
168-1	弥生土器 不明 (瓶)	4区 SK17 1層	底径 5.6	低く筋肉の厚い台盤。	底盤 外側:ナデ 内面:ナデ?	①2mm以下の砂粒を含む ②やや不良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
170-1	弥生土器 甕	4区 SK19 1層	口径 17.3	口縁端部を上方にやや引き出す。底部は「く」字状に弧曲する。松本N-2層。	口縁部 内外面:ナデ 底部上半 外側:ハケ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
170-2	土師器 甕	4区 SK19 1層	口径 9.8 底径 6.4 高さ 2.7	器壁は底部から口縁部にかけて外反して立ち上がる。8~9世紀。	口縁部・全体 内外面:ナデ 底部 外側:回転糸切り 内面:ナデ	①砂粒をあまり含まない ②普通 ③にぶい黄褐色	完形。
172-1	弥生土器 広口甕	4区 SK28 1層	口径 34.3	口縁端部は下方に拵張し、端面に3条の凹線文と円形文を施す。松本N-1層。	口縁部 内外面:ナデ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
172-2	土師器 甕	4区 SK28 2層	口径 14.6 高台径 8.4 高さ 6.3	器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がった後に口縁部部分でやや外反して窪む。底盤外縁や口内寄りに浅い高台を貼り付ける。9世紀?	口縁部・全体 内外面:回転ナデ 底盤 外側:回転糸切り 内面:ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰褐色	反転復元。
174-1	弥生土器 甕	4区 SK34	底径 5.8	平底。器壁は底部から脚部に向かい膨らむ外反して立ち上がる。弥生時代中期後半。	脚部下半 外側:ミガキ 内面:ハケ? 底盤 外側:ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③青褐色	反転復元。

検査番号	基 種	出土地点	柱高(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①軽土 ②焼成 ③色調(地)	備 考
176-1	陶器器 皿	4区 SK37 2層	高台径 4.4	器壁は底部から全体に向かい若干内側し立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。内面に網目状の模様が付いている。外側に施釉するが部分的に剥き取る。17世紀?	体部 外面: 回転ナデ 内面: 施釉 底部 外面: ケズリ 内面: 施釉	①繊密 ②良好 ③輪: 明瞭灰色 地: にぼい黄褐色	反転復元、 伊万里焼。
176-2	陶器器 皿	4区 SK37 2層	高台径 2.7	器壁は底部から全体に向かい内側して立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。外側以外に施釉する。体部と高台の外側に施釉の跡が付いている。	体部・底部 外表面: 施釉	①繊密 ②良好 ③輪: 明オリーブ灰色 地: 黄白色	反転復元、 肥前系。
176-3	陶生土器 甕?	4区 SK38 1層	口径 15.8	口縁端部は上方にやや延長し端面に2条の浅い凹溝を残す。端部は「く」字状に扭曲する。松本N-1層。	口縁部 内外面: ナデ 側部上半 内外面: ハケ?	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元、
180-1	陶生土器 甕?	4区 P0907 1層	底径 4.2	器かに上げ底状を残す。器壁は底部から瓶部に向かい直線的に立ち上がる。秀生時代中期後半。	瓶部下半 外表面: ミガキ 内面: ナデ? 底部 外表面: ナデ 内面: オサエ	① 2mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰青褐色	反転復元、
180-2	陶生土器 甕?	4区 P1011 1層	底径 5.0	器かに上げ底状を残す。器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がる。秀生時代中期後半。	瓶部下半 外表面: ミガキ 内面: ナデ? 底部 外表面: ナデ 内面: オサエ	① 1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③灰青褐色	反転復元、
180-3	陶生土器 甕?	4区 P1108 2層	底径 11.0	平底。器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がるようである。秀生時代中期後半。	底部 外表面: ナデ 内面: オサエ	① 2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰青褐色	反転復元、
180-4	陶生土器 甕?	4区 P1004 1層	口径 19.6	口縁端部を上方にやや引き出す。端面に連続刻目文を施す。端部は「く」字状に扭曲する。松本N-2層。	口縁部 内外面: ナデ 側部上半 外表面: ハケ後ナデ 内面: ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぼい黄褐色	反転復元、
182-1	陶生土器 高杯	4区 SD01 1層	脚端径 10.0	脚端部は肥厚し、両面に2条の凹溝文を残す。また、外側にも5条以上の円錐文が認められる。松本N-2層。	脚部 外表面: ナデ 内面: ケズリ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元、
184-1	土器器 甕	4区 SD11 1層	底径 5.4	底部内面に「凸」と解される墨書き有り。中腹。	底部 内表面: 回転高切り 内面: 回転ナデ	①まれに 2.5mm 大の塵を含む ②良 ③にぼい黄褐色	反転復元、
184-2	陶器器 皿	4区 SD11 1層	脚端径 5.0	器壁は底部から全体に向かい直線的に立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。外側以外に施釉する。	体部・底部 内外面: 施釉	①密 ②良好 ③輪: にぼい黄褐色 地: 浅黄褐色	反転復元、
185-1	陶生土器 甕?	4区 160r 地山直上層	口径 16.2	口縁端部を上方に強張し端面に3条の凹溝文と連続刻目文を施す。端面外側に突起文を貼り付ける。松本N-2層。	口縁部 内外面: ナデ 側部上半 内外面: ハケ後ナデ?	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元、
185-2	陶生土器 甕?	4区 16Gr 地山直上層	底径 5.2	平底。器壁は底部から瓶部に向かい直線的に立ち上がる。秀生時代中期後半。	瓶部下半 外表面: ミガキ 内面: ナデ 底部 外表面: ナデ 内面: オサエ	① 2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元、
185-3	陶生土器 甕?	4区 160r	底径 4.5	器かに上げ底状を残す。器壁は底部から瓶部に向かい直線的に立ち上がるようである。秀生時代中期後半。	瓶部下半 外表面: ミガキ 内面: ナデ 底部 外表面: ナデ	① 1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元、
185-4	陶生土器 高杯	4区 15-16Gr	脚端径 12.0	脚端部は肥厚し端面に板状文を施す。また、外側には4条以上の浅い凹溝文が認められる。松本N-2層。	脚部 内外面: ナデ	① 1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぼい黄褐色	反転復元、

件番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
185-5	須恵器 壺?	4区 SK03 地山頂上層	不 明	大きく外傾する口縁部と考えられる。底 部に平坦面を有し、外面に波状文が認め られる。	口縁部 内外面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む唇 ②良 ③灰色	
192-1	青土器 壺	5区 SK03 1層	口径 11.9	口縁部は肥厚し表面に平坦面を有す。 底盤は弓状に内傾する。板木目-1 型?	口縁部・底盤 内外面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄色	反転復元。
192-2	青土器 壺	5区 SK03 1層	底径 6.4	平底。底盤は底部から腹部に向かい直線 的に立ち上がる。蓋生年代中尾後半。	腹部下平 外側：ミガキ 内側：ハケ 底盤 外側：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
192-3	土師器 壺	5区 SK03 1層	口径 19.2	口縁部は直筒に外反する。底盤は底部か ら腹部にかけて内凹する。	口縁部 内外面：ナデ 腹部 外側：ナデ 内側：ケズリ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②多く含む ③普通 ④褐色	反転復元。 外側全面に擦が 付着している。
192-4	土師器 环	5区 SK03 3層	口径 13.5 高台径 7.5 底高 5.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に 立ち上がり、先端より断面を呈す。底盤 外側に低い高台を貼り付ける。9世紀。	口縁部・底盤 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り後ナデ? 内側：ナデ	①2mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③褐色	反転復元。
192-5	土師器 环	5区 SK03 2層	口径 10.4 高台径 5.8 底高 4.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に 立ち上がり、底盤外側に低い高台を貼り 付ける。9世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り後ナデ? 内側：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③褐色	
192-6	土師器 环	5区 SK03 2層	口径 10.9 底径 6.6 底高 3.6	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に 立ち上がり、先端より断面を呈す。9世 紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り後ナデ? 内側：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を少し含 む ②やや良 ③淡黄褐色	ほぼ完形。 底盤にスノコ状 圧痕が残る。
192-7	土師器 环	5区 SK03 2層	口径 10.8 底径 6.1 底高 3.6	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に 立ち上がり、先端より断面を呈す。9世 紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り後ナデ? 内側：回転ナデ	①まれに3mmの大難を含む ②やや良 ③褐色	ほぼ完形。 底盤にスノコ状 圧痕が残る。
192-8	土師器 环	5区 SK03 2層	口径 12.6 底径 6.1 底高 4.5	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に 立ち上がり、先端より断面を呈す。9世 紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り後ナデ? 内側：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③にぶい褐色	
192-9	土師器 环	5区 SK03 2層	口径 12.8 底径 7.3 底高 5.3	器壁は底部から体部にかけて直線的に立 ち上がりが、口縁部付近で僅かに外反 し窪口する。9世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り 内側：回転ナデ	①3mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③褐色	反転復元。
192-10	土師器 环	5区 SK03 1・2層	口径 14.5 底径 8.3 底高 4.9	器壁は底部から体部にかけて直線的に立 ち上がりが、口縁部付近で僅かに外反 し窪口する。9世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り 内側：回転ナデ	①まれに4mmの大難を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
192-11	土師器 环	5区 SK03 2層	口径 11.5 底径 5.6 底高 4.0	底盤でやや擦られた器壁は口縁部に向か い直線的に立ち上がり、先端より断面を 呈す。9世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り 内側：回転ナデ	①まれに4mmの大難を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
192-12	土師器 皿	5区 SK03 2層	口径 13.7 底径 8.9 底高 1.6	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に 立ち上がり、先端より断面を呈す。9世 紀?	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底盤 外側：回転糸切り後ナデ? 内側：ナデ	①まれに5mmの大難を含む ②やや良 ③褐色	

標別番号	基 種	出土地点	法身(年)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎上 ②焼成 ③色調(地)	備 考
192 - 13	須磨器 灰	5 区 SK03 3 層	11世 底径 6.9 高さ 3.7	口縁部は底面から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、先端より断面を呈す。底面V字。	口縁部・底部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ? 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③黄灰色	ほぼ定形。 内外面に「十」字状の火拂が残る。
195 - 1	弥生土器 灰	5 区 SK01 1 層	口徑 16.8	口縁部は外反して開口し、底部に1条の沈線を残す。底部外周に8条のヘラ描き痕文を施す。松木1-3~1-4周。	口縁部 外面：ナデ 内面：ミガキ 底部 外面：ハケ 内面：ミガキ	① 3mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
196 - 1	弥生土器 灰?	5 区 SK02 1 層	底径 7.1	平底。器壁は底部から腹部に向かい直線的に立ち上がるようである。弥生時代前半。	脚部下半 内外面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：ナサエ	① 4mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③褐色	反転復元。
196 - 2	弥生土器 灰	5 区 SK02 1 層	脚端径 12.9	器壁は底部に向かい「ハ」字状に開き、底部を丸くおさめる。弥生時代後期。	脚部 外面：ミガキ 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
198 - 1	土器器 灰	5 区 SK03 3 層	高台径 7.2	底面外縁に低い高台を貼り付ける。9世紀?	底部 外面：回転糸切り後ナデ? 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅褐色	反転復元。
200 - 1	弥生土器 灰	5 区 SK06 1 层	口徑 15.2	口縁部は単純に外反し底部を丸くおさめる。底部の粗面はゆるい。松木1-1周。	口縁部・脚部上半 内外面：ナデ	① 3mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③褐色	反転復元。
200 - 2	弥生土器 灰	5 区 SK06 2 层	口徑 27.9	口縁部を上方にやや引き出す。底部に連続印文を施す。松木1-2周。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
202 - 1	弥生土器 灰	5 区 SK16 2 层	不 明	口縁部は短く外反して開口する。底部はゆるく逆曲する。器壁はあまり張り出さない。弥生時代前半。	口縁部 内外面：ナデ 脚部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	① 3mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい褐色	
204 - 1	弥生土器 広口型	5 区 PD02 1 层	口徑 29.3	口縁部は上下に若干低減し端面に3条の凹線文を施す。また、口縁部端面に6条の凹線文を施し、2 扇所に凹線序文を並び付け、底面に同じ凹線序文を施す。底部外周に4条の門字文を施す。松木N-1周。	口縁部 内外面：ナデ 底部 外面：ハケ 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③浅褐色	反転復元。
205 - 1	弥生土器 広口型	5 区 SD09 1 层	口徑 24.5	口縁部は下方に拡張し端面に3条の凹線文を施す。底部外周に連続凹線文、横文文、河内文を施す。松木N-1周。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
205 - 2	弥生土器 灰	5 区 SD09 1 层	底径 7.4	平底。器壁は底部から腹部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。弥生時代前半?	脚部下半 外面：ナデ 内面：ミガキ 底部 外面：ナデ	① 3.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰黄色	反転復元。
205 - 3	土器器 灰	5 区 SD09 1 层	口徑 15.7	口縁部を外方に平行に折り畳んで有する。蓋合部の後は水平方向に鋭く突出する。草木N-1周。	口縁部 内外面：ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい青褐色	反転復元。
205 - 4	土器器 灰?	5 区 SD09	口徑 13.7	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、底部は丸くおさめる。内外面に赤色施文を施す。古墳時代初期?	口縁部・体部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい赤褐色	反転復元。
205 - 5	土器器 灰	5 区 SD09 1 层	底径 5.6	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がるようである。中空。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい青褐色	反転復元。
205 - 6	土器器 灰	5 区 SD09 1 层	底径 4.1	底部で強く絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がるようである。中空。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。

件番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
205-7	土師器 环	5区 SD09 1層	底径 5.3	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がるようである。中空。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外表面：凹板角切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③浅黄色	反転復元。
206-8	須恵器 环	5区 SD09 1層	口径 12.0	体部の器壁は内側する。口辺近く内側し開口する。高広II-A型。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外表面：へこ切り後ナデ 内面：ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③灰色	反転復元。
207-1	弥生土器 甌	5区 SD15	口径 26.8	口縁部は上方に若干弧度を施す。腹部外面に突起文を記り付ける。底部は「く」字状に經曲する。松本Ⅱ-2型。	口縁部 内外面：ナデ 腹部上半 外表面：ハケ 内面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
207-2	弥生土器 瓶形甌	5区 SD15	周囲径 6.3	脚部は「ハ」字状に大きく開き、2箇所に孔を穿つ。弥生時代後期。	脚部 内外面：ナデ	①2mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
207-3	陶磁器 焰塔	5区 SD15	口径 30.0	口縁部はやや内側し、腹部は丸くおさまる。	口縁部・体部 内外面：ナデ 腹部 外表面：ケズリ 内面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。 外表面全面に塵が付着している。
208-1	弥生土器 甌	5区 20r 池山丘上層	口径 14.3	口縁部は平鈍に外反する。腹部は「く」字状にゆるく経曲する。松本Ⅲ-4型。	口縁部 内外面：ナデ 腹部上半 内外面：ハケ後ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
208-2	須恵器 不規	5区 90r	不 明	上方部は施塗を呈する。下方部は器壁が開く、上方部と下方部は別々に形成された後に接合される。	表裏：ナデ 内面：絞り	①砂粒をほとんど含まず密 ②良 ③灰色	
213-1	七面器 环	6区 SEB1 下層	口径 12.8 底径 6.6 高さ 4.5	器壁は底部から体部にかけて内湾して立ち上がるった後に口縁部で若干外反して開口する。12世紀?	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外表面：回転み切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄色	ほぼ完形。
213-2	土師器 环	6区 SEB1 中・下層	口径 12.3 底径 4.9 高さ 3.9	器壁は底部から体部にかけて内湾して立ち上がる。口縁部は先端の断面を呈す。12世紀?	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外表面：回転み切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄色	ほぼ完形。
213-3	土師器 环	6区 SEB1 1層	底径 3.7	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい側かに内湾して立ち上がる。12世紀?	体部 内外面：回転ナデ 底部 外表面：回転み切り後ナデ? 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄色	反転復元。
213-4	須恵器 环	6区 SEB1	口径 10.4	口辺は近く内側し開口する。高広II-A型。	口縁部 内外面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③灰色	反転復元。
213-5	須恵器 高环	6区 SEB1 2層	不 明	環部は大きく開くようである。底部に施し有り。古墳時代後期~終末期?	脚部 内外面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
215-1	弥生土器 甌	6区 SKD04 1層	底径 7.0	脚部は人柱付近の外側に2段の点状文を施す。弥生時代中層後葉。	脚部 外表面：ハケ後ミガキ 内面：ハケ 底部 外表面：ナデ 内面：オサエ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
217-1	須恵器 甌	6区 SKD06 3層	不 明	印部外側に広い平坦面を有し施が剥離した板状が残る。口縁部との境に變をする。高広II-B型?	印部 外表面：回転ナデ 内面：ナデ 口縁部 内外面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。

標記番号	基 本	出土地点	法身(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①勘定 ②完成 ③色調(地)	備 考
219 - 1	土師器 甕	6区 SK09 1号	口径 28.0	口縁部は平底に外し瓶頸は「く」字状に彎曲する。	口縁部 外側:ナデ 内側:ハケ 瓶頸上半 外側:ハケ後ナデ 内側:ケズリ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
221 - 1	須恵器 甕	6区 SK19 中筋	底径 7.3	瓶壁は底座から体部に向かい僅かに内彎して立ち上がるようである。半里。	体部 内外面:回転ナデ 底部 外側:回転糸切り 内側:回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
223 - 1	弥生土器 甕?	6区 SD02 3号	口径 18.2	口縁端部は上方に拡張し端面に3条の凹線文を施す。また、内底にも3条程度の凹線文を施す。また、底本も3周。	口縁部 内外面:ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黃白色	反転復元。
223 - 2	弥生土器 広口瓶	6区 SD02 3号	不 明	口縁端部は肥厚し端面に3条の凹線文を施す。また、内底にも4以上条の凹線文を施す。底本も3周。	口縁部 内外面:ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③白色	
223 - 3	土師器? 甕	6区 SD02 1号	口径 21.4	口縁端部は外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。瓶頸部の継ぎは水平方向に鋭く突出する。草田6~7周。	口縁部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
223 - 4	弥生土器 甕?	6区 SD02 1号	底径 4.7	平底。	底部 内外面:ナデ	①まれに3mm 大の繊を含む ②良 ③浅黃褐色	
223 - 5	土師器 皿	6区 SD02 2号	口径 8.9 底径 6.1 高さ 1.9	瓶壁は口縁部で若干内側し瓶口する。中世。	口縁部・体部 内外面:ナデ 底部 外側:回転糸切り 内側:ナデ	①砂粒をほとんど含まず地 ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
223 - 6	土師器 皿	6区 SD02 5号	口径 9.8 底径 7.0 高さ 1.8	瓶壁は口縁部で若干内側し瓶口する。中世。	口縁部・体部 内外面:回転ナデ 底部 外側:回転糸切り 内側:回転ナデ	①砂粒をほとんど含まず地 ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
223 - 7	陶器器 皿	6区 SD02 5号	高径 14.9	直面に高台を削り出す。内面に施物する。近世。	体部・底部 外側:回転ナデ 内側:施物	①新 ②良好 ③地:褐灰色 地:にぶい黄褐色	反転復元。 肥前系。
223 - 8	陶器器 瓶	6区 SD02 1号	口径 26.8	口縁端部を丸くあせる。体部内面に10数本1半位の継目を入れる。近世。	口縁部・体部 内外面:施物	①1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③地:灰赤色 地:灰褐色	反転復元。 肥前系。
224 - 1	陶器器 瓶	6区 SD07 下附	口径 11.1 高台径 4.7 高さ 7.3	瓶壁は底部から体部にかけて内彎して立ち上がるが、口縁端部は外側に若干引き出す。底本に高台を削り出す。底部外側以外に施物する。行化紀?	口縁部・体部 内外面:施物 底部 外側:ケズリ 内側:施物	①新 ②良好 ③地:灰オーラー色 地:灰褐色	反転復元。 唐津系。
225 - 1	弥生土器 甕	6区 SD08 1号	底径 10.4	平底。瓶壁は底座から胴部に向かい大きく開いて立ち上がる。弥生時代中期後半。	瓶底半 外側:ミガキ? 内側:ナデ 瓶頸上半 外側:ナデ 内側:オサエ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
225 - 2	弥生土器 甕	6区 SD08 1号	口径 19.8	口縁部外底に6条程度の平行弦線を施す。瓶頸は「く」字状に彎曲する。草田3周。	口縁部 内外面:ナデ 瓶頸上半 内側:ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
225 - 3	弥生土器 甕	6区 SD08 1号	口径 14.2	口縁部外底に10条程度の平行弦線を施す。瓶頸は「く」字状に彎曲する。草田3~4周。	口縁部 内外面:ナデ 瓶頸上半 内側:ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
225 - 4	弥生土器 甕	6区 SD08 3号	口径 19.7	口縁部外底に11条程度の深い平行弦線を施す。瓶頸は「く」字状に彎曲する。草田3周。	口縁部 内外面:ナデ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。

辨証番号	層 積	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備 考
226-5	寄生土器 裏	6区 SD08 1層	口径 18.1	複合部の後は斜め下方に突出する。草田5周。	口縁部 内外面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
226-6	寄生土器 裏	6区 SD08 3層	口径 17.6	複合部の後は斜め下方に突出する。草田5周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
226-7	土師器? 裏	6区 SD08 1層	口径 14.2	複合部の後は水平方向に突出する。兩脇外側に8条程度の平行弦紋と連續刻文を施す。草田6周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：サエ、ケズリ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
226-8	土師器? 裏	6区 SD08 1層	口径 18.2	複合部の後は水平方向に斜く突出する。胴部最大径や上段の外側に4条1單位の弦文を施す。草田6~7周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
226-9	土師器? 裏	6区 SD08 1層	口径 15.8	口縁部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の後は水平方向に突出する。草田6~7周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	①2.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄褐色	反転復元。
226-10	土師器 裏	6区 SD08 1層	口径 23.2	口縁部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の後は水平方向に斜く突出する。草田6~7周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
226-11	寄生土器 高环	6区 SD08 1層	口径 25.4	胫部は体部では僅かに内湾するが口縁部では外反し窪口にする。草田5周?	胫部 内外面：ミガキ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。 226-12と同一個体の可能性有り。
226-12	寄生土器 高环	6区 SD08 1層	不 明	円錐先端法により作られる。胫部は複合部に向かい「ハ」字状に開く。草田5周。	胫部 外面：ミガキ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	内面は焼成時に黒化している。 226-11と同一個体の可能性有り。
226-13	土師器? 鋸形沿台	6区 SD08 1層	不 明	受部の胫部は直線的に「ハ」字状に開く。後の突出は既さを欠く。草田6周?	受部 内外面：ナデ 胴部 内面：ケズリ	①3mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰白色	反転復元。
226-14	土師器? 鋸形沿台	6区 SD08 1層	口径 25.1	受部の胫部は体部で直線的に立ち上がるが口縁部では僅かに外反し窪口にする。後部は既さをや欠く。草田5周?	受部 内外面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
226-1	寄生土器 裏	6区 SD10 3層	口径 20.0	口縁部は上下に僅かに拡張し端面に平坦面を有する。松本N-1周?	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰白色	反転復元。
226-2	寄生土器 裏	6区 SD10 2層	口径 14.0	口縁部は上方に拡張し端面に2条の凹溝を造らす。胫部は「ハ」字状に屈曲する。松本N-1周。	口縁部・胴部上半 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰白色	反転復元。
226-3	寄生土器 裏	6区 SD10 3層	口径 21.8	複合部の後は斜め下方に突出する。草田5周。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③灰白色	反転復元。
226-4	土師器? 裏	6区 SD10 3層	不 明	複合部の良は水平方向に突出する。草田6周。	口縁部 内外面：ナデ	①まれに3.5mm大の砂を含む ②やや良 ③灰白色	
226-5	土師器 裏	6区 SD10 1層	口径 14.3	口縁部に平坦面を有する。複合部の後は水平方向に斜く突出する。草田6~7周。	口縁部 内外面：ナデ 胴部 外面：ハケ 内面：ケズリ	①2mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。

井筒番号	器種	当土地点	法身(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調(地)	備考
228-6	土師器 甕	6区 SD18 1層	口径 12.4	口縁部は短く端部に平坦面を有する。複合部の縁は水平方向に弧く突出する。肩部外腹に1条の浅いやかな弦状文を施す。胴部は形状を呈する。卓田7期?	口縁部 内外面:ナデ 胴部 外面:ハケ 内面:ケズリ	①3.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③浅黄褐色	
229-1	陶生土器 甕	6区 12Gr ガラシ	口径 13.7	複合部の縁は水平方向に突出する。卓田5~6期。	口縁部 内外面:ナデ 胴部上半 内面:ケズリ	①砂粒をあまり含まない ②普通 ③浅黄褐色	反転復元。
229-2	土師器 甕	6区 14Gr 地山直上層	口径 15.8	口縁端部に平坦面を有する。複合部の縁は水平方向に突出する。卓田6~7期。	口縁部 内外面:ナデ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③浅黄褐色	反転復元。
229-3	土師器 甕	6区 14Gr 地山直上層	口径 13.9	口縁端部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の縁は水平方向に突出する。卓田6~7期。	口縁部 内外面:ナデ 胴部上半 外腹:ハケ? 内面:ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄褐色	反転復元。
229-4	土師器 甕	6区 11-12Gr ガラシ	口径 20.4	口縁端部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の縁は水平方向に弧く突出する。卓田6~7期。	口縁部 内外面:ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
229-5	土師器? 埴輪器合	6区 14Gr 地山直上層	口径 23.3	受部の器底は全体では直線的に立ち上がるが口縁部では外反し両口突する。縁は較く突出する。卓田6~7期。	受部 外面:ナデ 内面:ミガキ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい褐色	反転復元。
229-6	土師器 甕	6区 9Gr 地山直上層	口径 12.8 底径 8.9 深さ 3.7	端面は底部からU脚部にかけて直線的に立ち上がる。底部外腹以外に赤色染影を施す。9世紀?	口縁部・体部 内外面:回転ナデ 底部 外腹:回転糸切り後ナデ? 内面:回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③褐色	反転復元。
229-7	土師器 甕	6区 8Gr	高台径 11.4	底面外縁に低い高台を貼り付ける。底部全面に赤色染影を施す。9世紀前半?	底部 内外面:ナデ?	①砂粒をほとんど含まない ②やや良 ③褐色	反転復元。
229-8	土師器 甕 (台部)	6区 9Gr 地山直上層	台径 3.6	底部内面中央に幅12mm程度の窪みを有する。11世紀?	甕部 内面:ナデ 台部 底面:回転糸切り	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄褐色	
229-9	陶器器 甕	6区 14Gr 地山直上層	不明	脚部に貫通しない切り込み状の通しが対に認められる。古墳時代終末。	甕部・脚部 内外面:ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③褐色	
229-10	陶器器 甕	6区 7Gr	底径 6.6	器底は底部から体部に向かい急かに内側して立ち上がる。10世紀?	口縁部 内外面:回転ナデ 底部 外腹:回転糸切り 内面:ナデ	①砂粒をあまり含まない ②良 ③灰色	反転復元。
229-11	土製品	6区 9Gr	長さ 12.9 最大径 5.8	断面は横円形で一端はやや膨が大きくなる。手捏で成形している。用途及び時限不明。	表面:ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③褐色	
229-12	土製品	6区 10-11Gr 地山直上層	最大径 3.4	断面は不整な横円形で一端はやや膨が大きくなる。手捏で成形している。用途及び時限不明。	表面:ナデ	①1mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい褐色	

## 石製品観察表

標本番号	種類	出土地点	遺存状態	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
21-1	砾石	1区 SK14 1層	一部欠	砂岩	7.6	4.3	3.6	123	細かい砾石。4面に研磨面を残し、そのうち1面には鋸利なもので引っ張ったような縦の条溝が複数残る。
39-1	鑿状片刃石斧	1区 SK26 1層	一部欠	頁岩	4.3	1.2	1.0	10	作りがあり良くないため全体的に丸味を帯びる。寄生時代中周囲。
47-1	磨研石	1区 SK33 1層	完存	百夷安山岩	16.7	12.6	6.7	1335	2面に複数の磨痕が残る。
59-1	砾石	1区 SD06 1層	一部欠	砂岩	10.8	5.7	8.0	390	粗い砾石。1面に研磨面を残し、他の1面に断面「V」字状を呈する切り込み状の条溝が1条残る。
59-2	砾石	1区 SD06 1層	一部欠	砂岩	6.4	8.2	8.8	565	粗い砾石。2面に研磨面を残し、同一面に鋸利なもので引っ張ったような条溝も複数確認できる。
78-1	石斧?	1区 3Gr 地山底上層	一部欠	頁岩	3.3	3.0	0.5	10	表面に研磨面、裏面に自然剥離面が残る。側面にも研磨面が残る。
87-1	砾石	2区 SK18 7層	一部欠	砂岩	6.7	6.5	4.6	220	粗い砾石。3面に研磨面を残し、うち1面には切り込み状の条溝も認められる。
90-1	鐵石?	2区 SK19 1層	完存	燧灰岩	17.8	14.1	10.0	2000 ~ 2500	裏面に切り込み状の条溝や打痕が複数残る。
116-1	砾石	2区 SD04	一部欠	砂岩	13.5	6.2	9.2	870	細かい砾石。1面に研磨面が残る。
128-1	砾石	3区 SK01 1層	一部欠	砂岩	5.5	5.8	2.8	138	研磨面が認められたため、石斧を転用した砾石と思われる。縁には面を有した敲打痕が残る。
141-1	砾石	3区 SD01 3層	一部欠	砂岩	11.0	7.3	4.7	425	粗い砾石。4面に研磨面が残り、うち1面には切り込み状の条溝が複数残る。
141-2	不定形刃器	3区 SD01 1層	完存	流紋岩	10.2	7.1	1.2	90	石核から打ち削がされた後に、何も加工を施されていない石片と考えられる。剥離面に貝殻状剥離、放射状剥離などが観察できる。一部刃部が付けられている可能性がある。
146-1	刮削器	3区 SD04 1層	完存	鰐岩	6.2	4.3	0.9	30	石核から打ち削がされた後に、何も加工を施されていない石片と考えられる。剥離面に貝殻状剥離、放射状剥離などが観察できる。刃は付けられていない。
167-1	管玉	4区 SK17 1層	完存	碧玉	1.3	径0.3	孔径0.1	0~1	一方向よりはほぼ同じ径の孔を穿っている。寄生時代中周囲。
186-1	石斧	4区 15' - 16Gr 全体3層	一部欠	変成岩	12.5	5.0	3.9	385	伏接用の石斧。刃部は欠損している。頂部に敲打痕が残る。